



テラス(自在桁下止め)

取付け説明書

●この説明書について

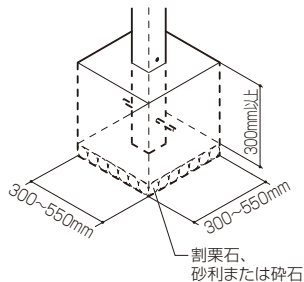
- ・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
- ・必ず取付けされる方にお渡してください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

チェックポイント

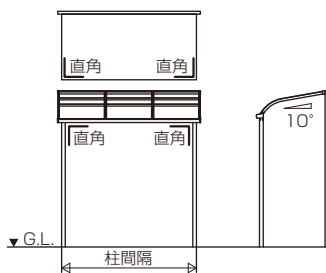
①基礎寸法

P.6参照



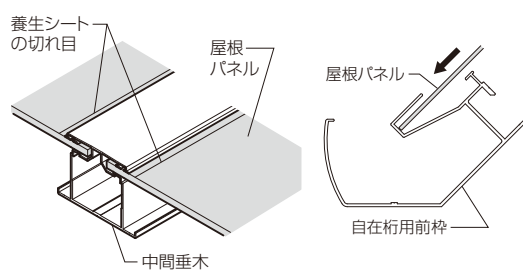
②柱の垂直・屋根の直角・勾配

P.10参照



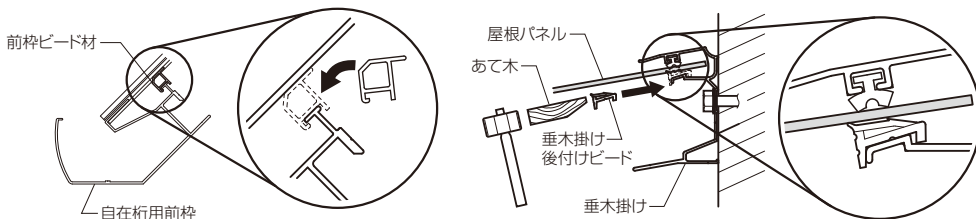
③屋根パネルののみ込み・すき間

P.25参照



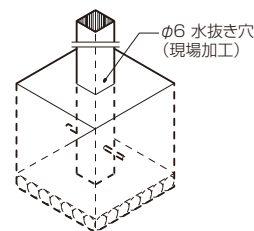
④後付けビードの取付け

P.25参照



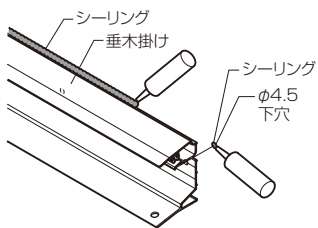
⑤水抜き穴

P.6参照

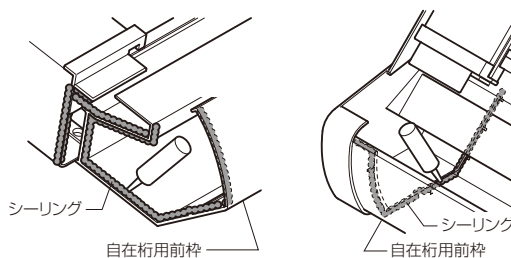


⑥シーリング

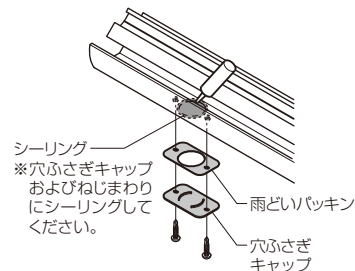
●垂木掛け P.16参照



●前枠 P.27参照

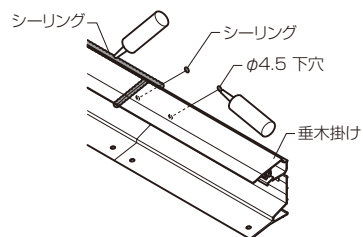


●雨どい P.14参照

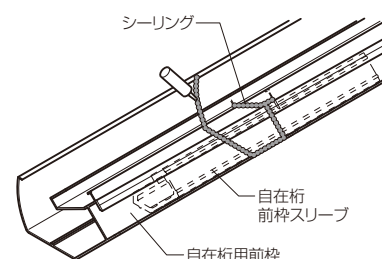
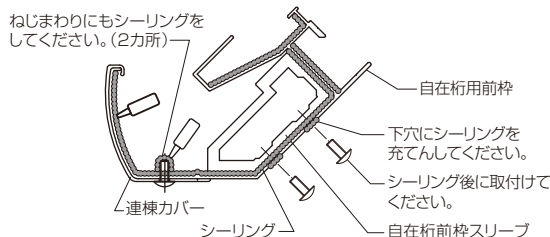


●連結部

垂木掛け連結部 P.30参照



前枠連結部 P.32参照



⑦施工完了後、ねじ・ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

■取付けされる方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。
- ・他社商品(バルコニーなど)と合わせて設置しないでください。
- ・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・崖っぴちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

■テラス 自在桁下止めタイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5～7尺	○	○	×

●躯体への固定

- ・垂木掛け、柱壁付け固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
- ・躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけに固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- ・ねじ・ボルトは当社指定品の指定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - φ4ねじ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - φ5ねじ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 - M6ボルト：5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)
 - M8ボルト：12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
- ・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。

▲ 注 意

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- ・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分(4日~1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
- ・埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水がたまらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

●パネルについて

- ・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- ・屋根パネルの取付けは垂木へののみ込みが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について

- ・みだりに改造・変更をしないでください。
 - ・柱の移動は当社指定範囲内に行ってください。
- ※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングはひび割れ防止のために、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
・東レ・ダウコーニング(株)	SE960

●プライマーについて

- ・プライマーが必要な場合は必ず処理を施してからシーリングを行なってください。

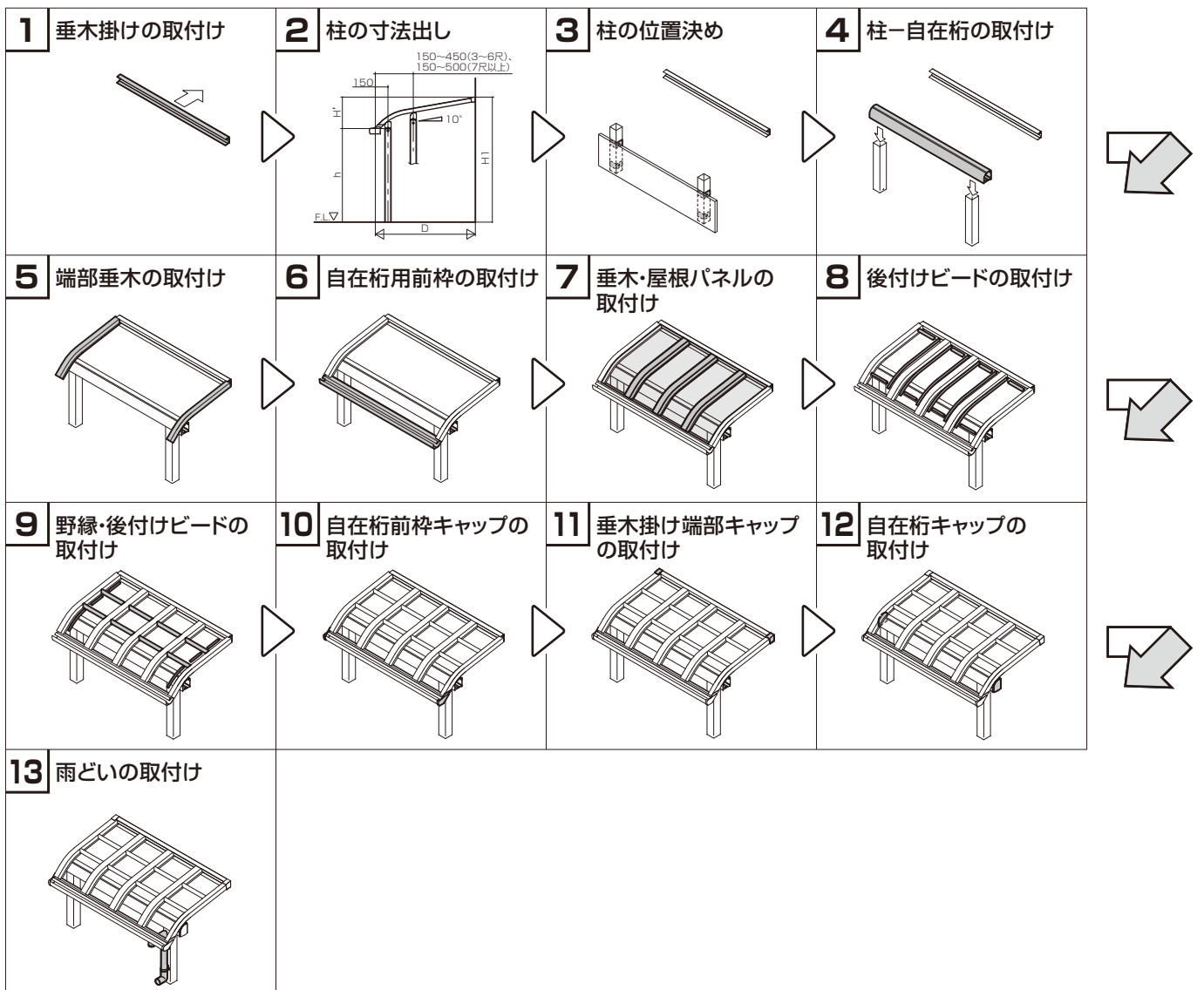
■取付け上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 取付け時は、必ず足場を設けてください。
- 前枠の内観左側にブランドラベルが張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベルがなくなるようにしてください。
- シャッターボックスの上を取付ける際は、メンテナンスのためのスペースを確保してください。

INDEX

■ 取付される方へのお願い	2	11 垂木掛け端部キャップの取付け	28
■ 取付け上へのお願い	3	12 自在桁キャップの取付け	28
■ 構造説明図	6	13 雨どいの取付け	29
■ 寸法図	10	■ 補強プレスの取付け	29
■ 取付け前準備	13	■ 連棟タイプの場合	30
■ 取付け順序	16	1 垂木掛けの取付け	30
1 垂木掛けの取付け	16	2 自在桁用前枠・自在桁・垂木掛け連結部の組立て	30
2 柱の寸法出し	17	■ 梱包明細表	33
3 柱の位置決め	18	■ 納まり図	42
4 柱-自在桁の取付け	20		
5 端部垂木の取付け	21		
6 自在桁用前枠の取付け	22		
7 垂木・屋根パネルの取付け	23		
8 後付けビードの取付け	25		
9 野縁・後付けビードの取付け	26		
10 自在桁前枠キャップの取付け	27		

施工の流れ

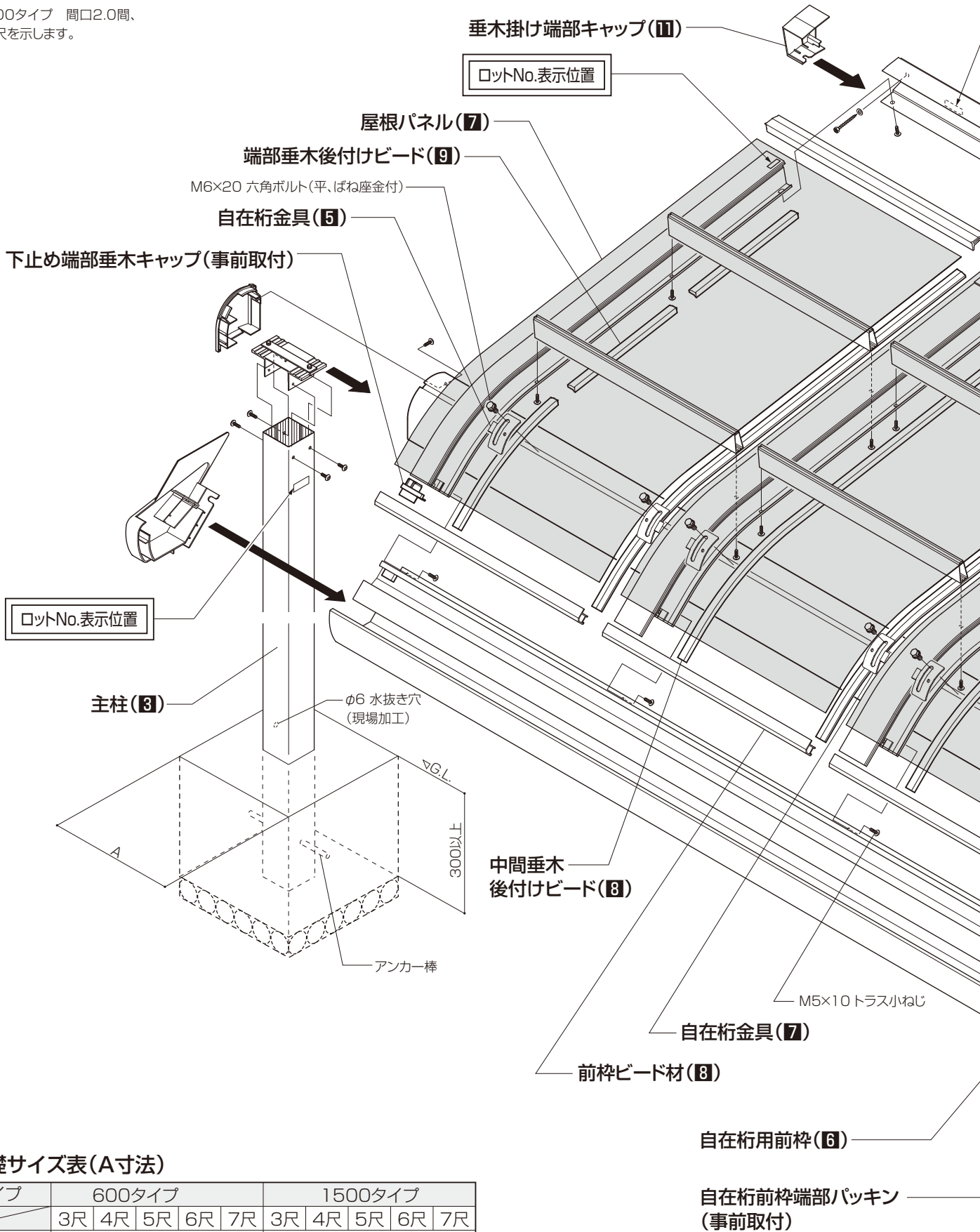




構造説明図

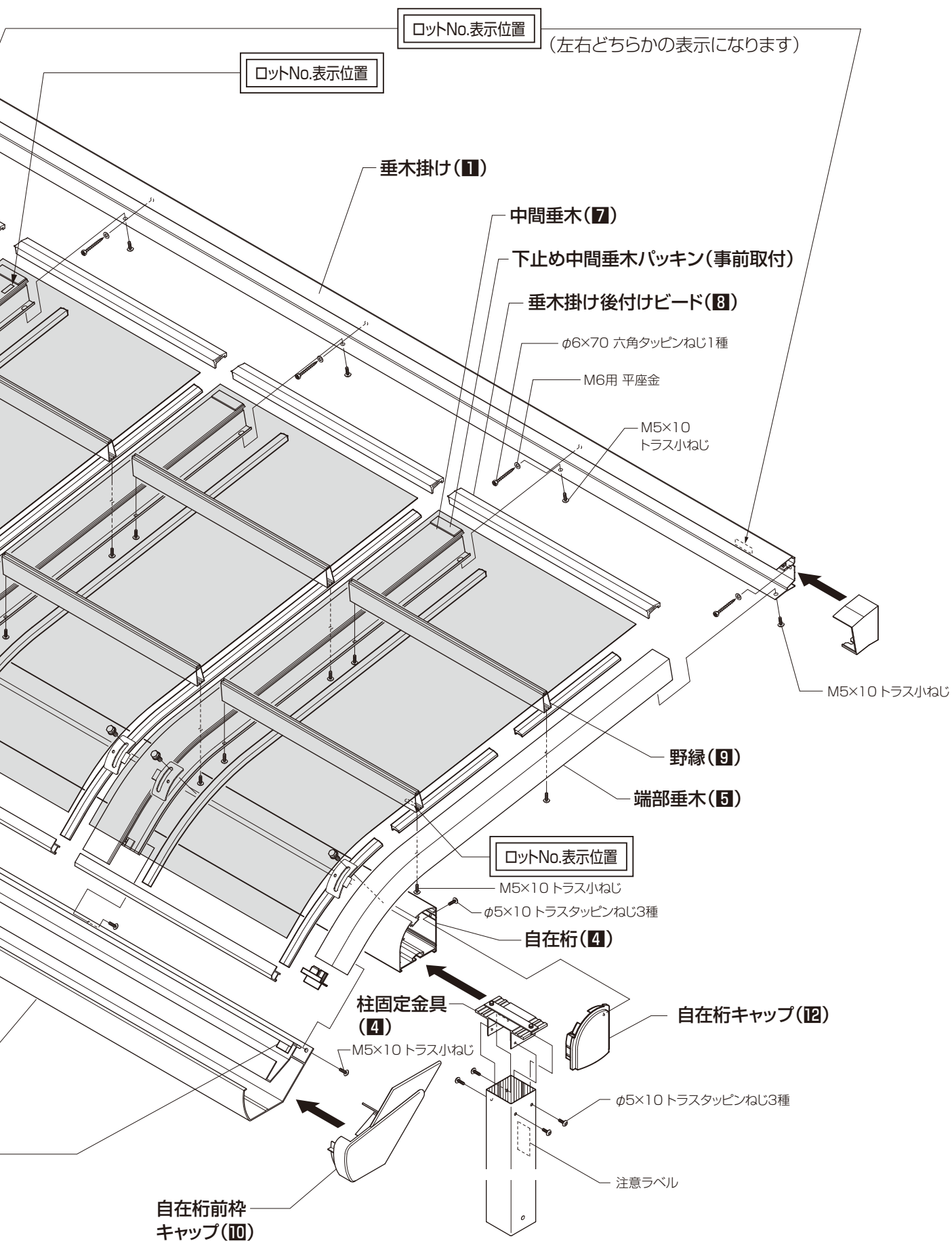
●R型屋根

※図は600タイプ 間口2.0間、
出幅6尺を示します。



●基礎サイズ表(A寸法)

タイプ	600タイプ					1500タイプ				
	3R	4R	5R	6R	7R	3R	4R	5R	6R	7R
1.0間	□300					□300				
1.5間										
2.0間										
2.5間通し										



ロットNo.表示位置

(左右どちらかの表示になります)

ロットNo.表示位置

垂木掛け (1)

中間垂木 (7)

下止め中間垂木パッキン (事前取付)

垂木掛け後付けビード (8)

φ6×70 六角タッピンねじ1種

M6用 平座金

M5×10
トラス小ねじ

M5×10 トラス小ねじ

野縁 (9)

端部垂木 (5)

ロットNo.表示位置

M5×10 トラス小ねじ

φ5×10 トラストタッピンねじ3種

自在桁 (4)

柱固定金具
(4)

M5×10 トラス小ねじ

自在桁キャップ (12)

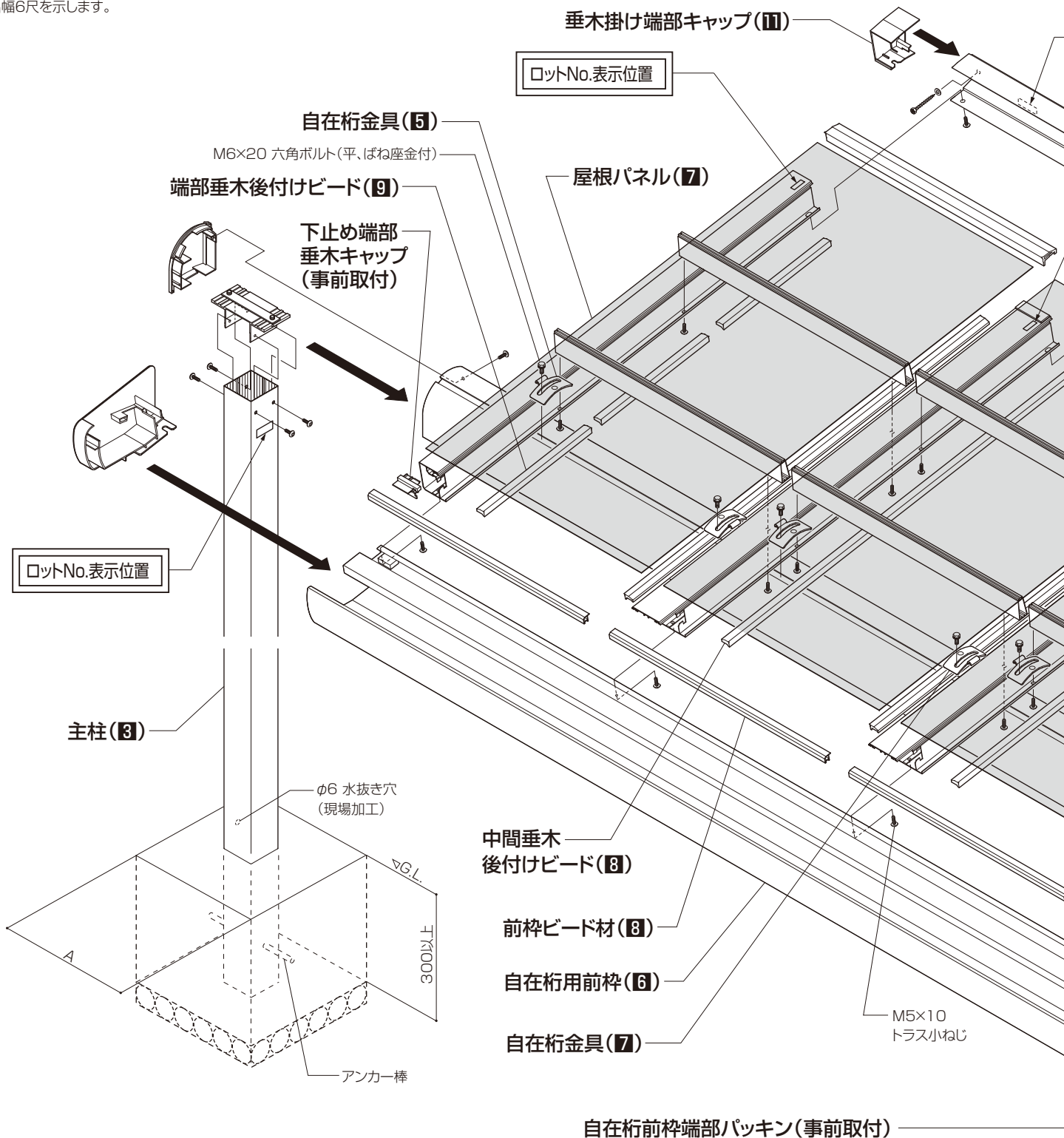
φ5×10 トラストタッピンねじ3種

注意ラベル

自在桁前枠
キャップ (10)

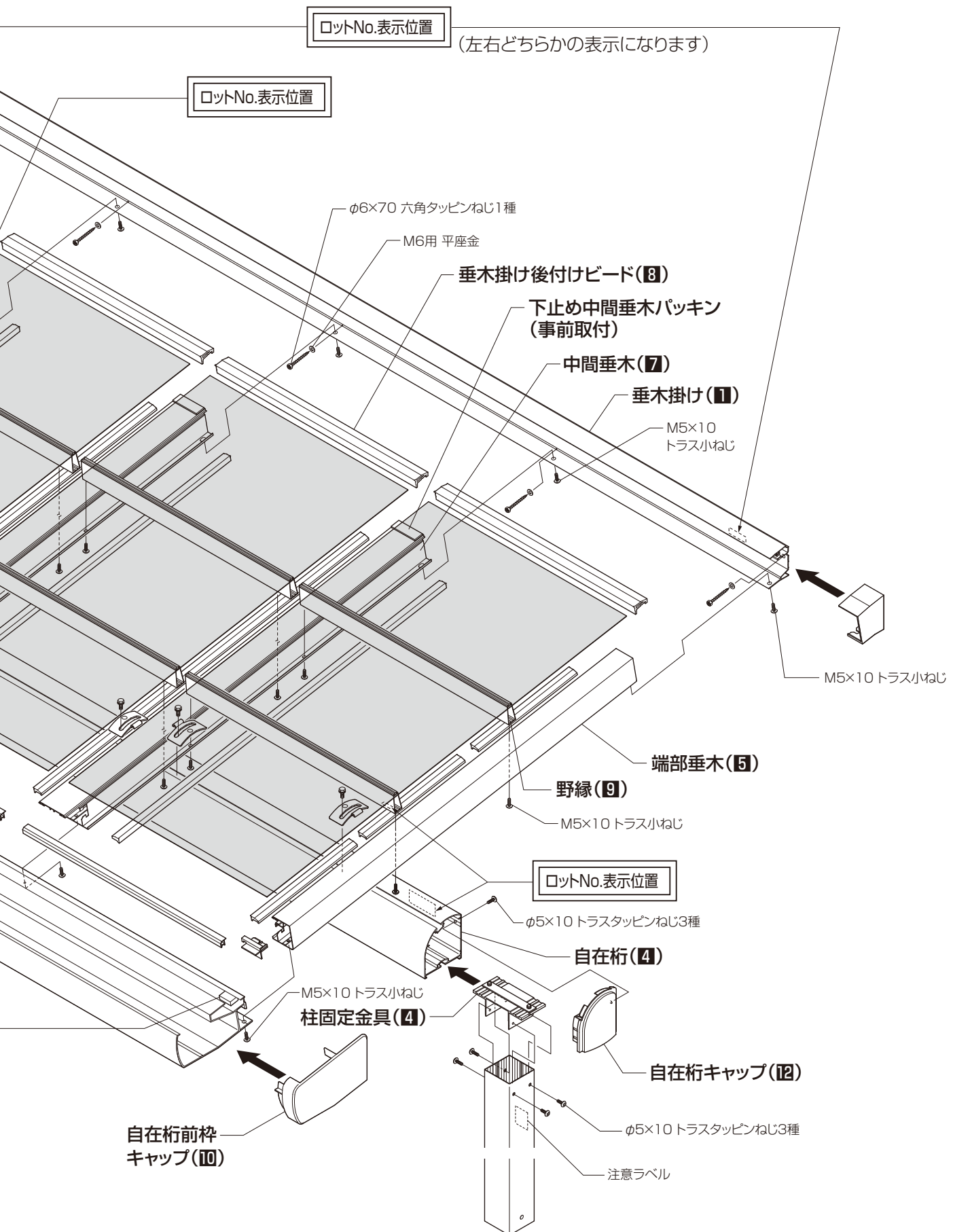
●F型屋根

※図は600タイプ 間口2.0間、
出幅6尺を示します。



●基礎サイズ表(A寸法)

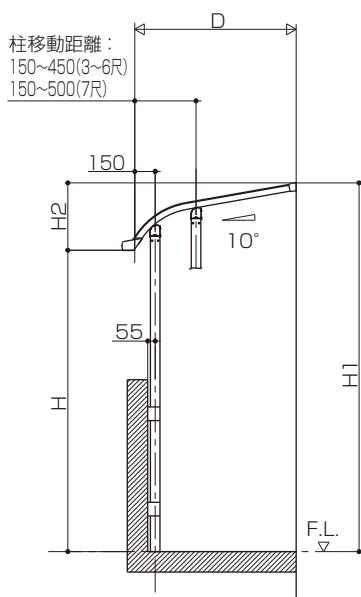
タイプ	600タイプ					1500タイプ				
	3R	4R	5R	6R	7R	3R	4R	5R	6R	7R
1.0間	□300					□300				
1.5間										
2.0間										
2.5間通し										



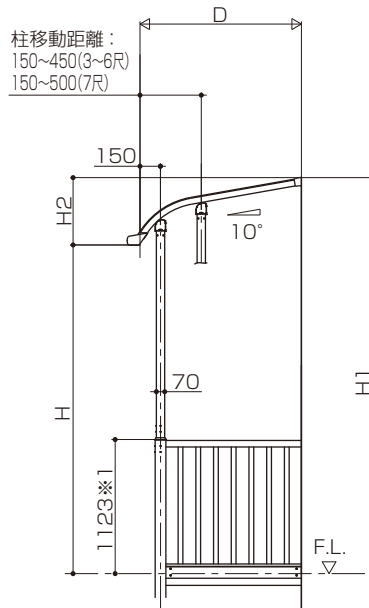
寸法図

●側面寸法図(R型屋根)

・造付け屋根



・柱90角バルコニー接続



※1 FL~柱上端

【高さ寸法表】R型屋根

出幅	H	H1	H2
3R	2200	2557	357
4R		2610	410
5R		2663	463
6R		2716	516
7R		2769	569

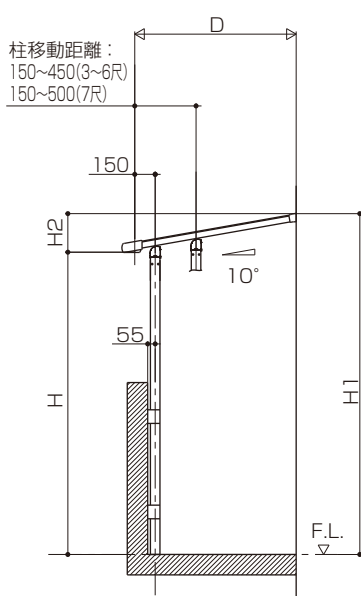
【出幅寸法表】

出幅	D
3R	885
4R	1185
5R	1485
6R	1785
7R	2085

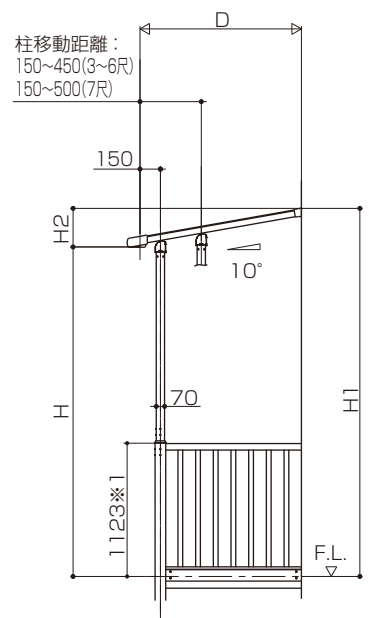
※柱の切断寸法はP17を参照してください。

●側面寸法図(F型屋根)

・造付け屋根



・柱90角バルコニー接続



※1 FL~柱上端

【高さ寸法表】F型屋根

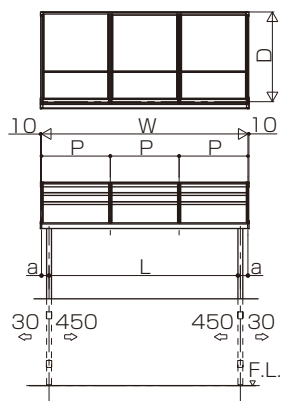
出幅	H	H1	H2
3R	2200	2409.5	209.5
4R		2462.5	262.5
5R		2515	315
6R		2568	368
7R		2621	421

【出幅寸法表】

出幅	D
3R	885
4R	1185
5R	1485
6R	1785
7R	2085

※柱の切断寸法はP17を参照してください。

●正面寸法図(造付けバルコニー接続 単体)



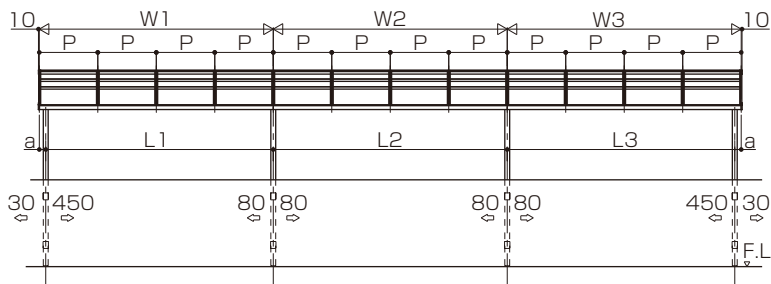
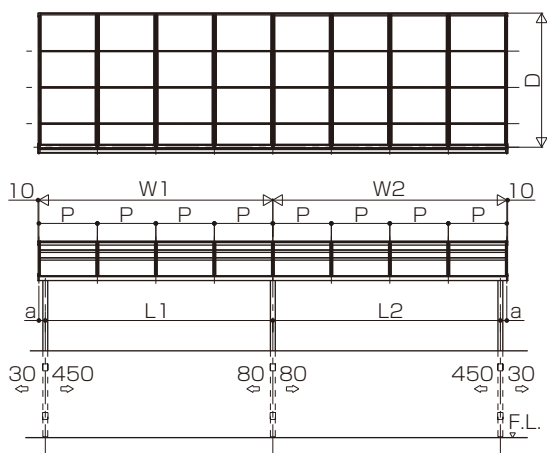
【間口寸法表】単体(関東間)

間口	関東間				
	W	L	a	P	P (補強垂木仕様)
1.0間	1820	1620	110	910	455
1.5間	2730	2530			
2.0間	3640	3440			
2.5間通し	4550	4350			

【間口寸法表】単体(メーター)

間口	メーター				
	W	L	a	P	P (補強垂木仕様)
2000	2000	1800	110	1000	500
3000	3000	2800			
4000	4000	3800			
5000	5000	4800			

●正面寸法図(造付けバルコニー接続 連棟)



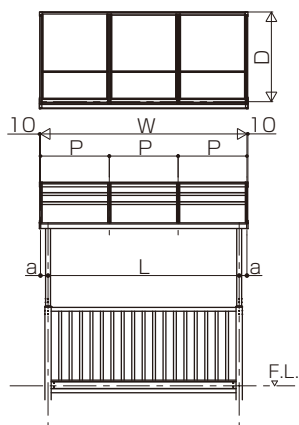
【間口寸法表】連棟(関東間)

間口	関東間							a	P	P (補強垂木仕様)
	W1	W2	W3	L1	L2	L3				
3.0間(1.5+1.5)	2730	2730	—	2630	2630	—	110	910	455	
3.5間(1.5+2.0)	2730	3640	—	2630	3540	—				
4.0間(2.0+2.0)	3640	3640	—	3540	3540	—				
4.5間(1.5+1.5+1.5)	2730	2730	2730	2630	2730	2630				
5.0間(1.5+2.0+1.5)	2730	3640	2730	2630	3640	2630				

【間口寸法表】連棟(メーター)

間口	メーター							a	P	P (補強垂木仕様)
	W1	W2	W3	L1	L2	L3				
6000(3000+3000)	3000	3000	—	2900	2900	—	110	1000	500	
7000(3000+4000)	3000	4000	—	2900	3900	—				
8000(4000+4000)	4000	4000	—	3900	3900	—				
9000(3000+3000+3000)	3000	3000	3000	2900	3000	2900				
10000(3000+4000+3000)	3000	4000	3000	2900	4000	2900				

●正面寸法図(柱90角バルコニー接続 単体)



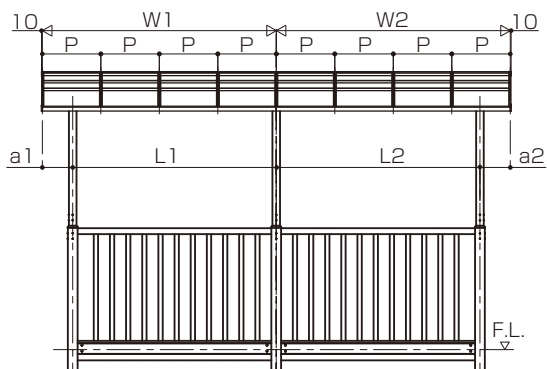
【間口寸法表】単体(関東間)

間口	関東間				
	W	L	a	P	P (補強垂木仕様)
1.0間	2000	1820	100	1000	500
1.5間	3000	2730	145		
2.0間	4000	3640	190		
2.5間通し	5000	4550	235		

【間口寸法表】単体(メーター)

間口	メーター				
	W	L	a	P	P (補強垂木仕様)
2000	2730	2000	375	910	455
3000	3640	3000	330		
4000	4550	4000	285		

●正面寸法図(柱90角バルコニー接続 連棟)



【間口寸法表】連棟(関東間)

間口	関東間							
	W1	W2	L1	L2	a1	a2	P	P (補強垂木仕様)
2.5間(1.0+1.5)	2000	3000	1820	2730	190	280	1000	500
3.0間(1.5+1.5)	3000	3000	2730	2730	280	280		
3.5間(1.5+2.0)	3000	4000	2730	3640	280	370		
4.0間(2.0+2.0)	4000	4000	3640	3640	370	370		

【間口寸法表】連棟(メーター)

間口	メーター							
	W1	W2	L1	L2	a1	a2	P	P (補強垂木仕様)
5000 (2000+3000)	2730	3640	2000	3000	740	650	910	455
6000 (3000+3000)	3640	3640	3000	3000	650	650		
7000 (3000+4000)	3640	4550	3000	4000	650	560		
8000 (4000+4000)	4550	4550	4000	4000	560	560		

取付け前準備

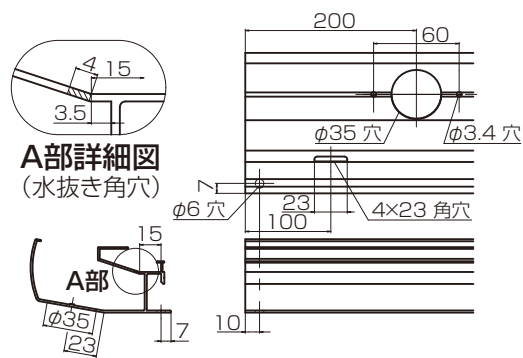
【切詰めが必要な場合】

現場サイズにより製品の切詰めが必要な場合、部材切断後に下記の端部加工をしておいてください。

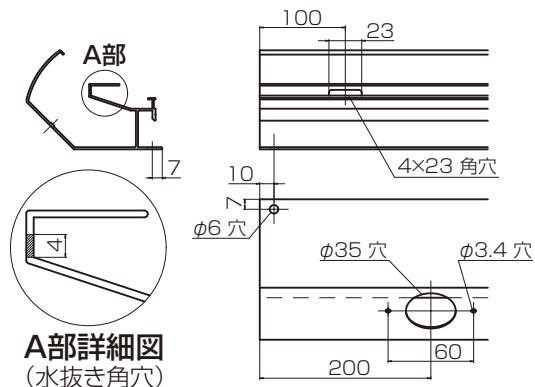
※自在桁用前枠の内観左側にラベル(商品名)が張ってあります。間口切詰めをする際にはラベルが残るように切詰めてください。

■間口切詰め

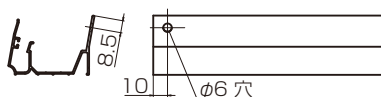
●自在桁用前枠F



●自在桁用前枠R



●垂木掛け

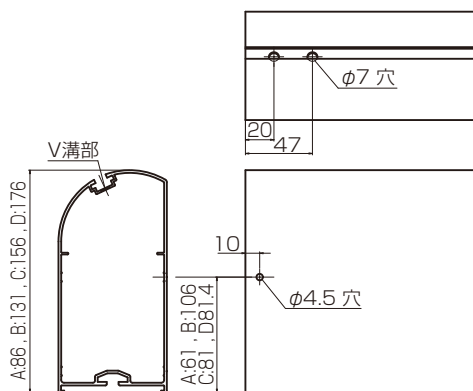


●野縁



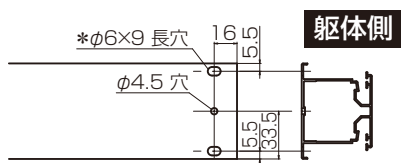
●自在桁(A~D)

※自在桁金具固定裏板が取付いています。
加工完了後、再度取付けてください。

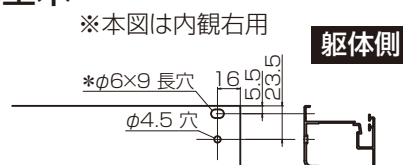


■出幅切詰め *φ6×9 長穴は垂木取付け部品を使用する場合のみ加工してください。

●中間垂木

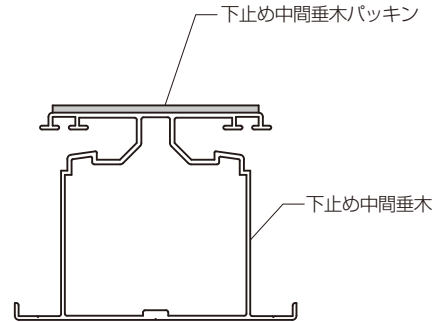
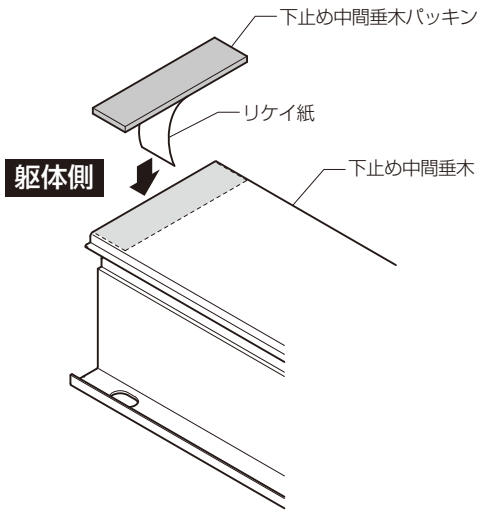


●端部垂木



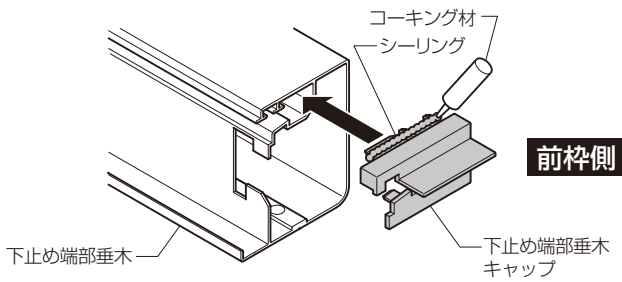
【下止め中間垂木パッキンの取付け】

・下止め中間垂木の躯体側端部に、下止め中間垂木パッキンを張り付けてください。



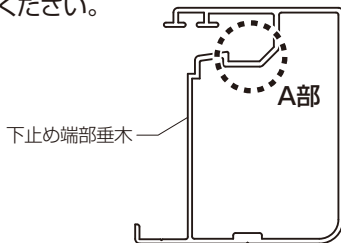
【下止め端部垂木キャップの取付け】

・下止め端部垂木の前枠側端部に、下止め端部垂木キャップを取付けてください。

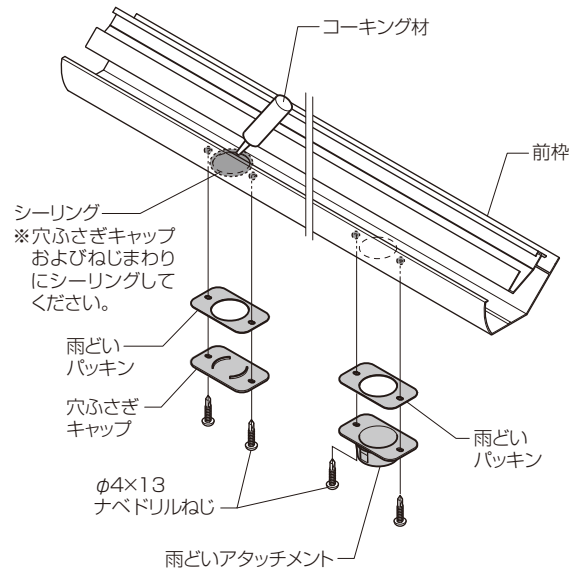


ポイント

●取付けの際に下図A部をシーリングでふさがないようにしてください。

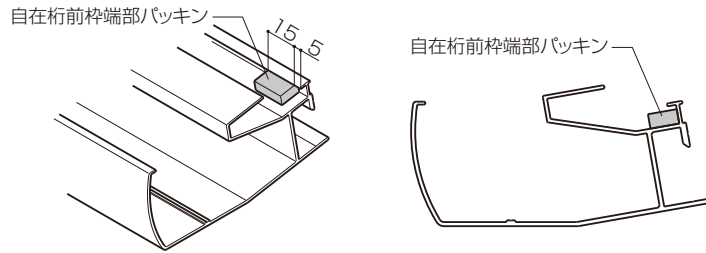


【雨どいアタッチー雨どいの取付け】



【自在桁前枓端部パッキンの取付け】

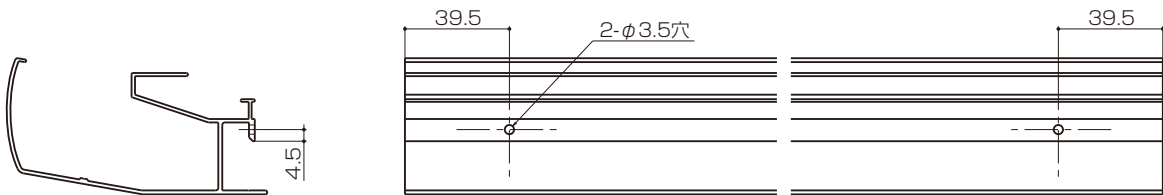
※自在桁用前枓の両端部に自在桁前枓端部パッキンを張り付けてください。



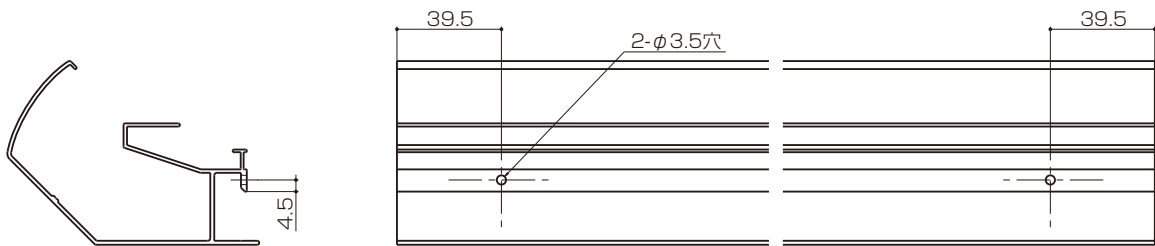
【1500タイプの場合】

※自在桁用前枓の両端部に自在桁前枓補強金具取付穴を加工してください。

●F型屋根



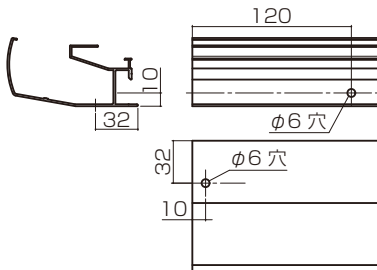
●R型屋根



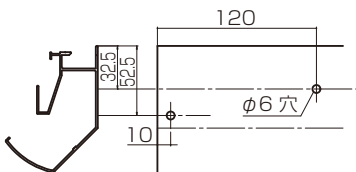
【連棟タイプの場合】

■前枓への加工

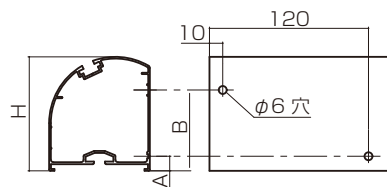
●F型屋根



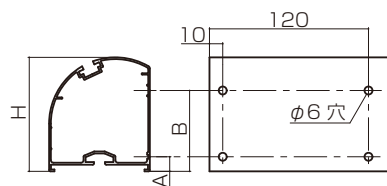
●R型屋根



■自在桁への加工



【連棟部に柱が取付かない場合】



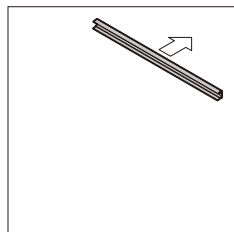
【寸法表】

タイプ	H	A	B
自在桁A	86	11	61
自在桁B	131	56	106
自在桁C	156	15	81
自在桁D	176	15.5	81.5

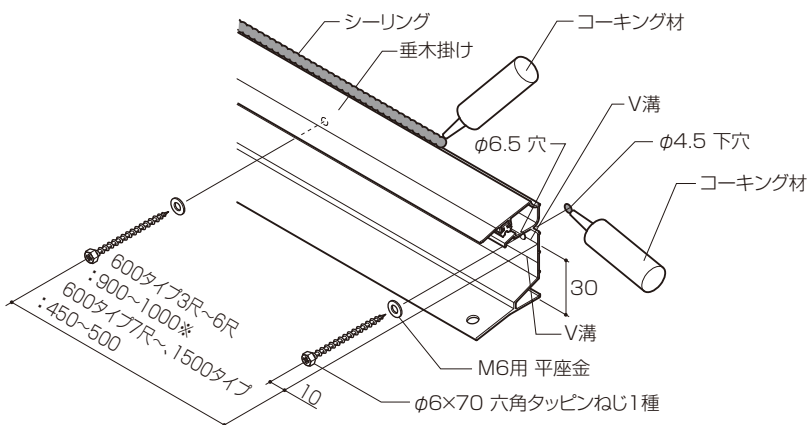
取付け順序

※本説明書はR型屋根を基本とした説明になっています。
特に注記がない場合は、F型屋根も同様の取付け方法となります。

1 垂木掛けの取付け



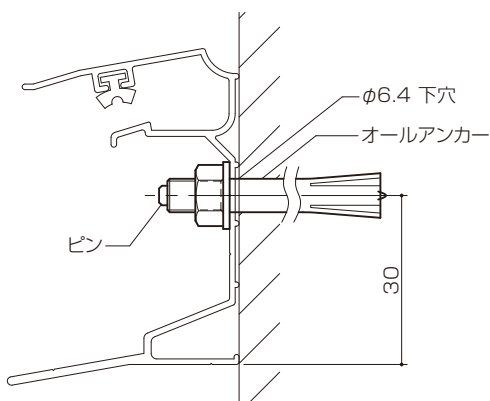
●躯体の柱および間柱の位置に合わせて、上側のV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。



※600タイプ3~6尺の場合、φ6×70 六角タッピンねじ1種はあまります。

【RC構造の場合】

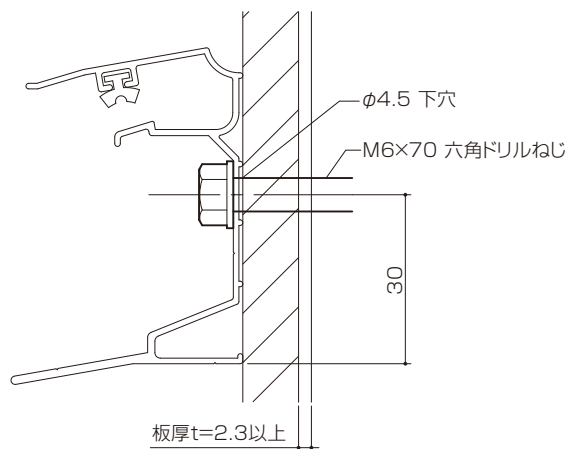
●φ6.4mmの下穴をあけ、切粉を除去し、取付けてください。



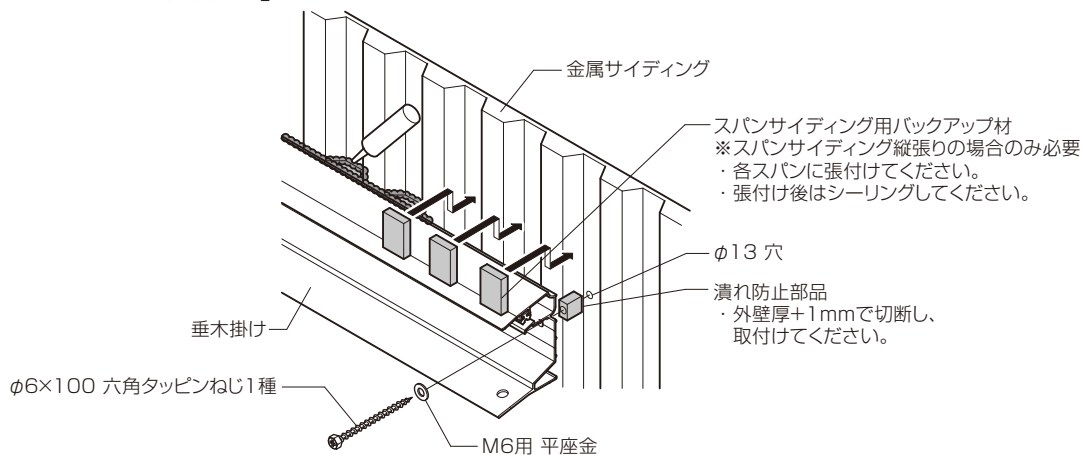
※同梱の袋ナットを使用する場合、埋め込み深さを調整し、ピンを切断して取付けてください。

【軽量鉄骨構造の場合】

●鉄骨の板厚が2.3mm以上あることを確認し、取付けてください。
●締付けの際、インパクトドライバーを使用しないでください。



【金属サイディングへの取付け】



※固定ねじの締め込み過ぎにより、金属サイディングが潰れないようご注意ください。

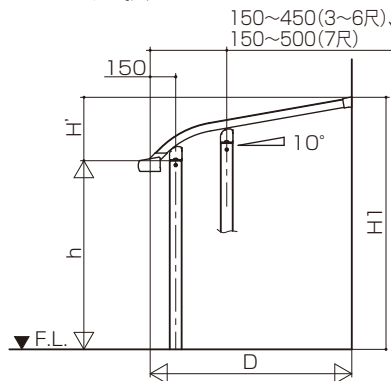
2 柱の寸法出し

●柱の必要寸法は屋根形状・柱の移動距離によって異なります。

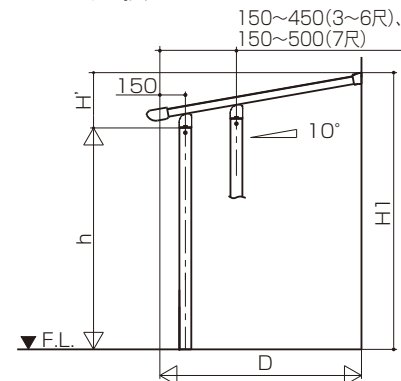
柱の必要寸法(h)=躯体高さ(H1)-H'は下表を参照してください。

※テラスの柱の必要長さは、h+基礎埋込み寸法になります。

●R型屋根



●F型屋根



■R型屋根H'寸法

柱移動距離	600タイプ									
	1.0間(2000)~2.0間(4000)					2.5間通し(5000)				
	3R	4R	5R	6R	7R	3R	4R	5R	6R	7R
150	312	365	418	471	569	357	410	463	516	594
200	281	334	387	440	538	326	379	432	485	563
250	258	311	364	417	515	303	356	409	462	540
300	242	295	348	401	499	287	340	393	446	524
350	232	285	338	391	489	277	330	383	436	514
400	223	276	329	382	480	268	321	374	427	505
450	214	267	320	373	471	259	312	365	418	496
500	-	-	-	-	462	-	-	-	-	487

柱移動距離	1500タイプ									
	1.0間(2000)~2.0間(4000)					2.5間通し(5000)				
	3R	4R	5R	6R	7R	3R	4R	5R	6R	7R
150	382	435	488	541	614	402	455	508	561	614
200	351	404	457	510	583	371	424	477	530	583
250	328	381	434	487	560	348	401	454	507	560
300	312	365	418	471	544	332	385	438	491	544
350	302	355	408	461	534	322	375	428	481	534
400	293	346	399	452	525	313	366	419	472	525
450	284	337	390	443	516	304	357	410	463	516
500	-	-	-	-	507	-	-	-	-	507

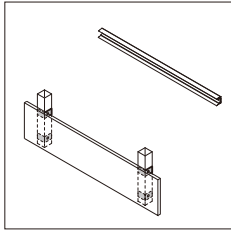
■F型屋根H'寸法

柱移動距離	600タイプ									
	1.0間(2000)~2.0間(4000)					2.5間通し(5000)				
	3R	4R	5R	6R	7R	3R	4R	5R	6R	7R
150	267	320	373	426	524	312	365	418	471	549
200	258	311	364	417	515	303	356	409	462	540
250	249	302	355	408	506	294	347	400	453	531
300	241	294	347	400	498	286	339	392	445	523
350	232	285	338	391	489	277	330	383	436	514
400	223	276	329	382	480	268	321	374	427	505
450	214	267	320	373	471	259	312	365	418	496
500	-	-	-	-	462	-	-	-	-	487

柱移動距離	1500タイプ									
	1.0間(2000)~2.0間(4000)					2.5間通し(5000)				
	3R	4R	5R	6R	7R	3R	4R	5R	6R	7R
150	337	390	443	496	569	357	410	463	516	569
200	328	381	434	487	560	348	401	454	507	560
250	319	372	425	478	551	339	392	445	498	551
300	311	364	417	470	543	331	384	437	490	543
350	302	355	408	461	534	322	375	428	481	534
400	293	346	399	452	525	313	366	419	472	525
450	284	337	390	443	516	304	357	410	463	516
500	-	-	-	-	507	-	-	-	-	507

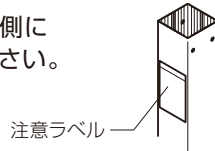
3 柱の位置決め

【柱を造付けバルコニーで固定する場合】



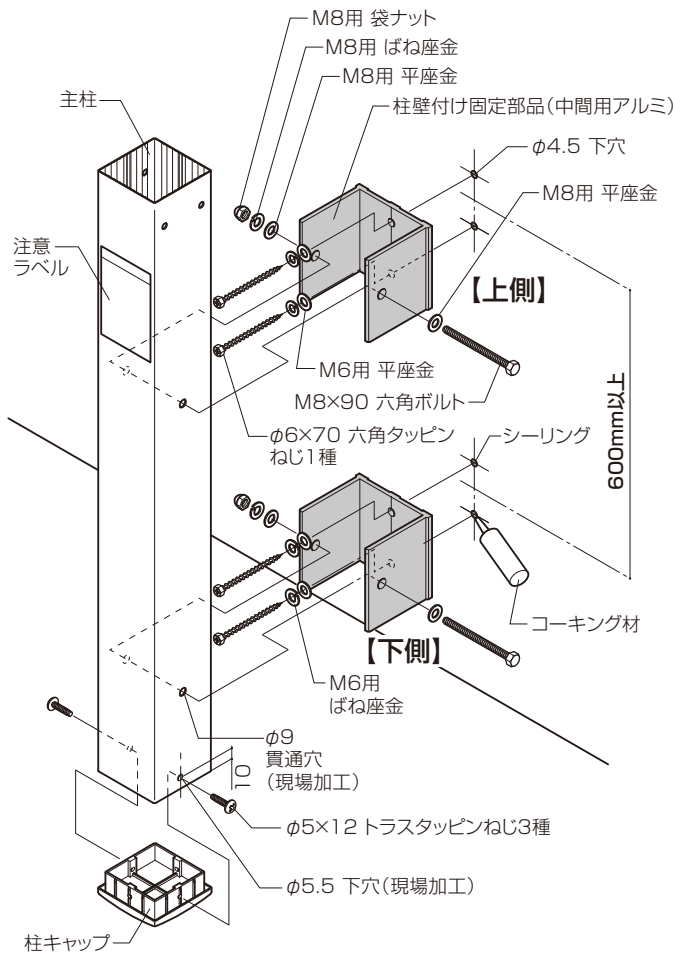
お願い

※注意ラベルが必ず建物側にくるように設置してください。

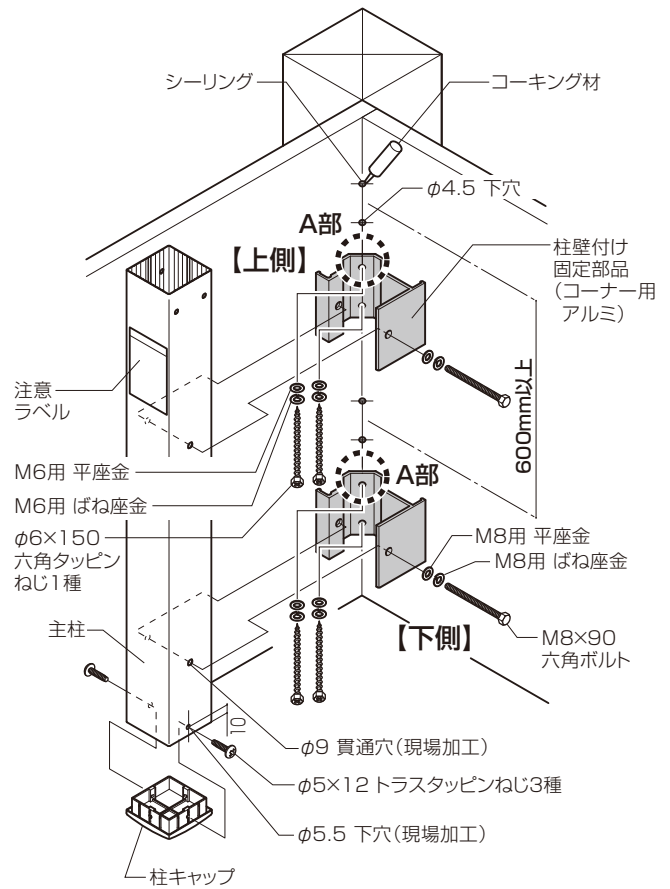


※固定部品の間は600mm以上あけてください。

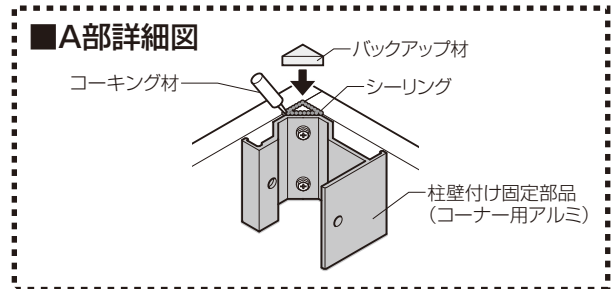
●中間用の場合



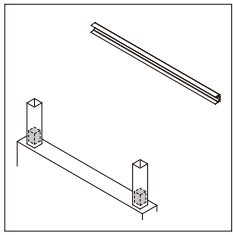
●コーナー用の場合



■A部詳細図

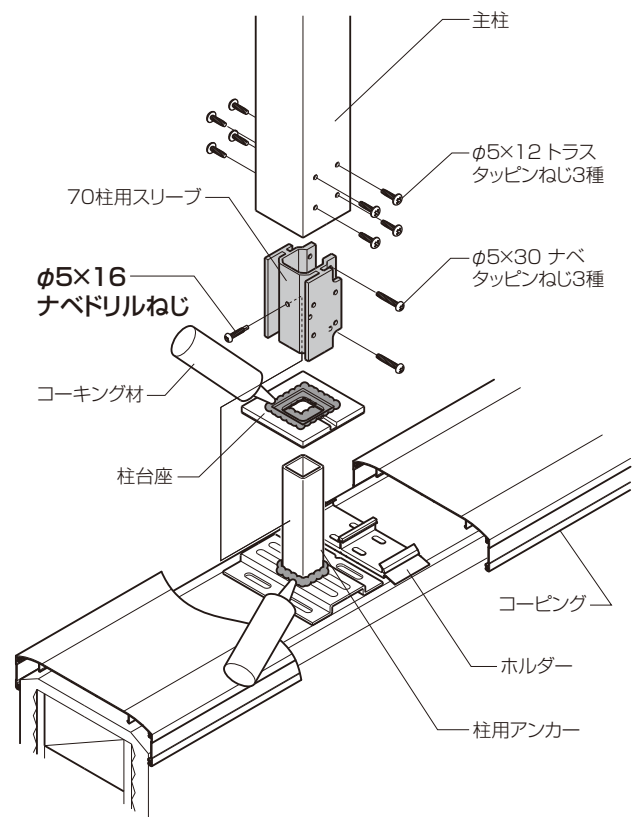
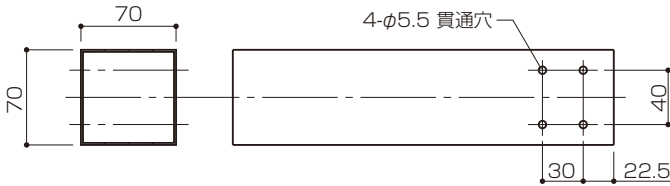


【コーピング納まりの場合】

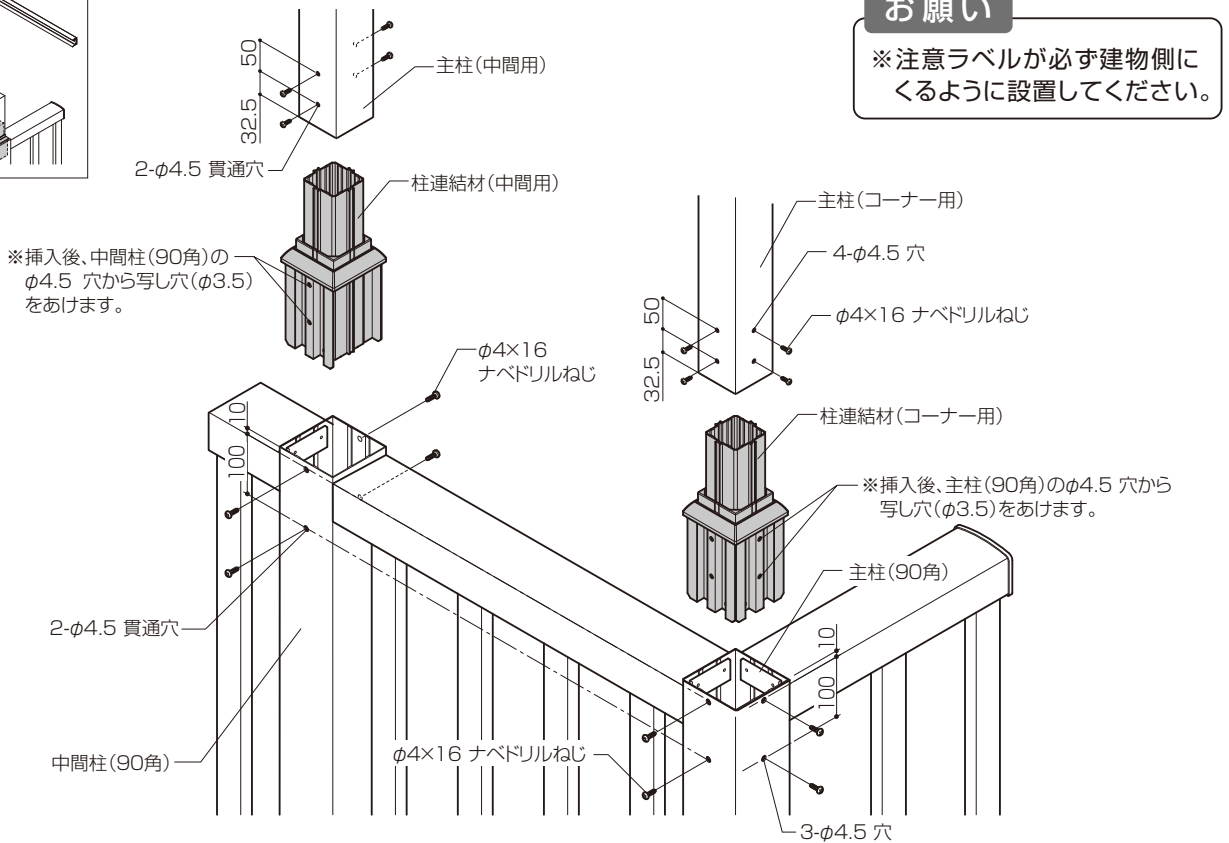
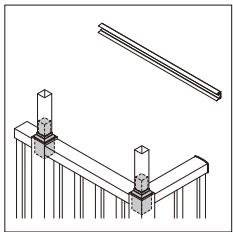


●コーピングにアンカーの貫通穴 (φ35mm)をあげ、取付けてください。

●柱加工図



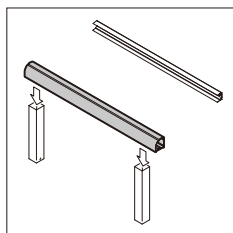
【柱90角タイプバルコニーに接続する場合】



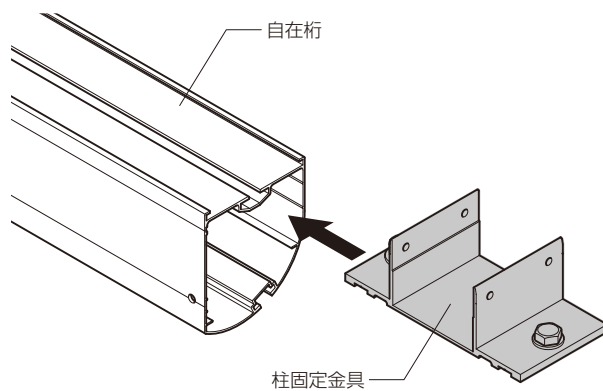
お願い

※注意ラベルが必ず建物側にくるように設置してください。

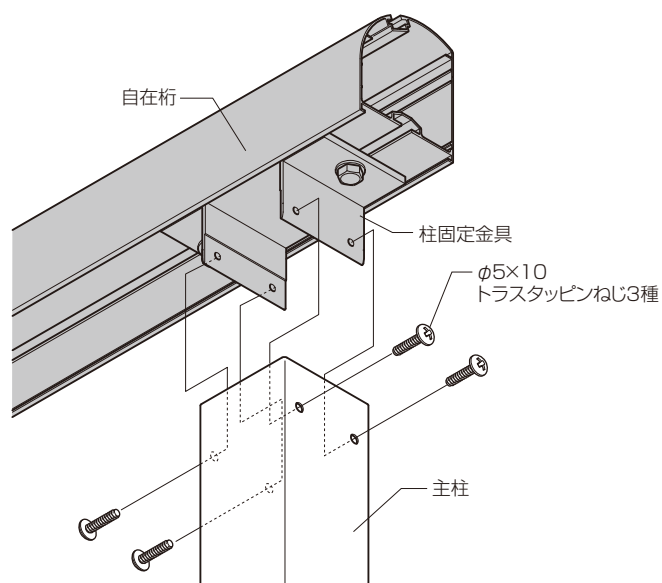
4 柱-自在桁の取付け



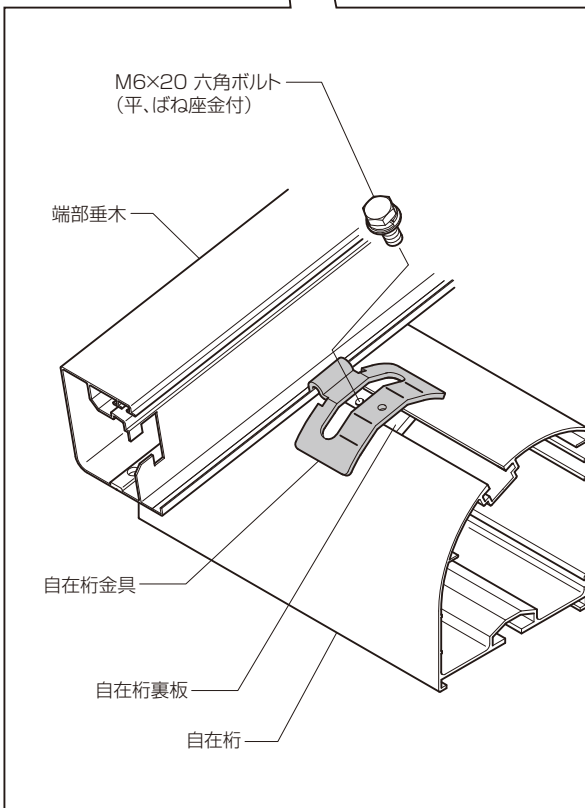
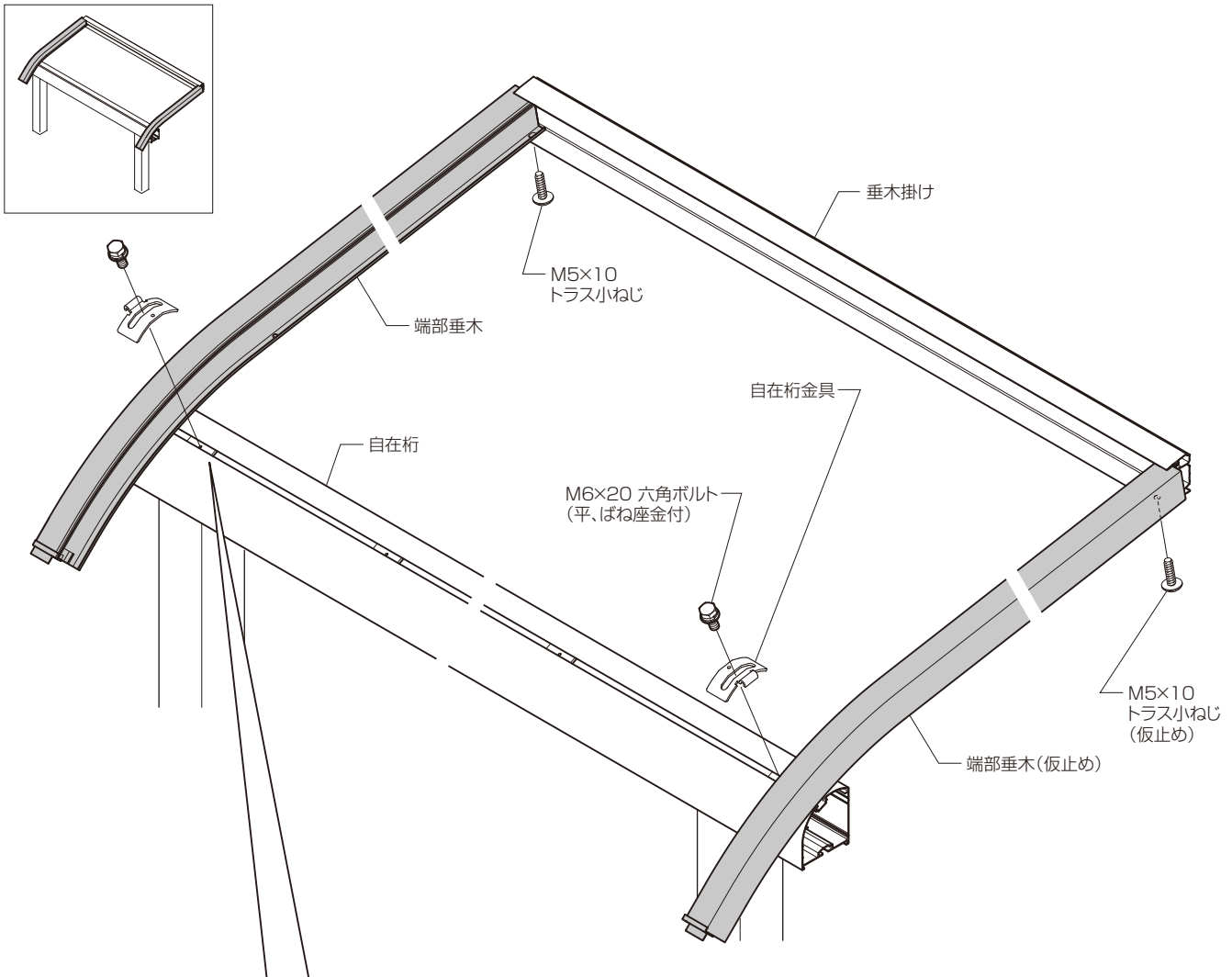
① 柱固定金具の取付け



② 柱の取付け



5 端部垂木の取付け

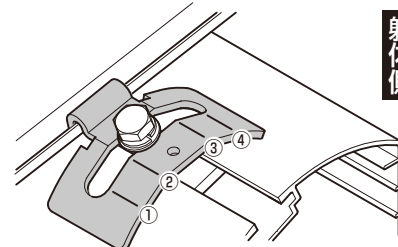


ポイント

●ボルト位置を刻印②と③の間で調節し、自在桁金具を取付けてください。

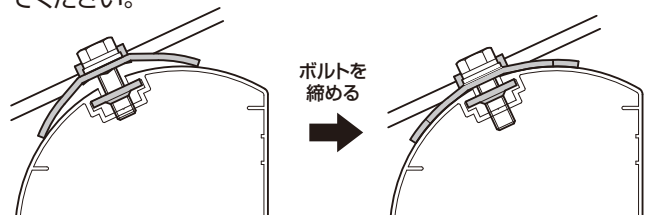
※垂木がずれるおそれがありますので、ボルト位置は刻印②、③の外側にならないようにしてください。

前
枠
側

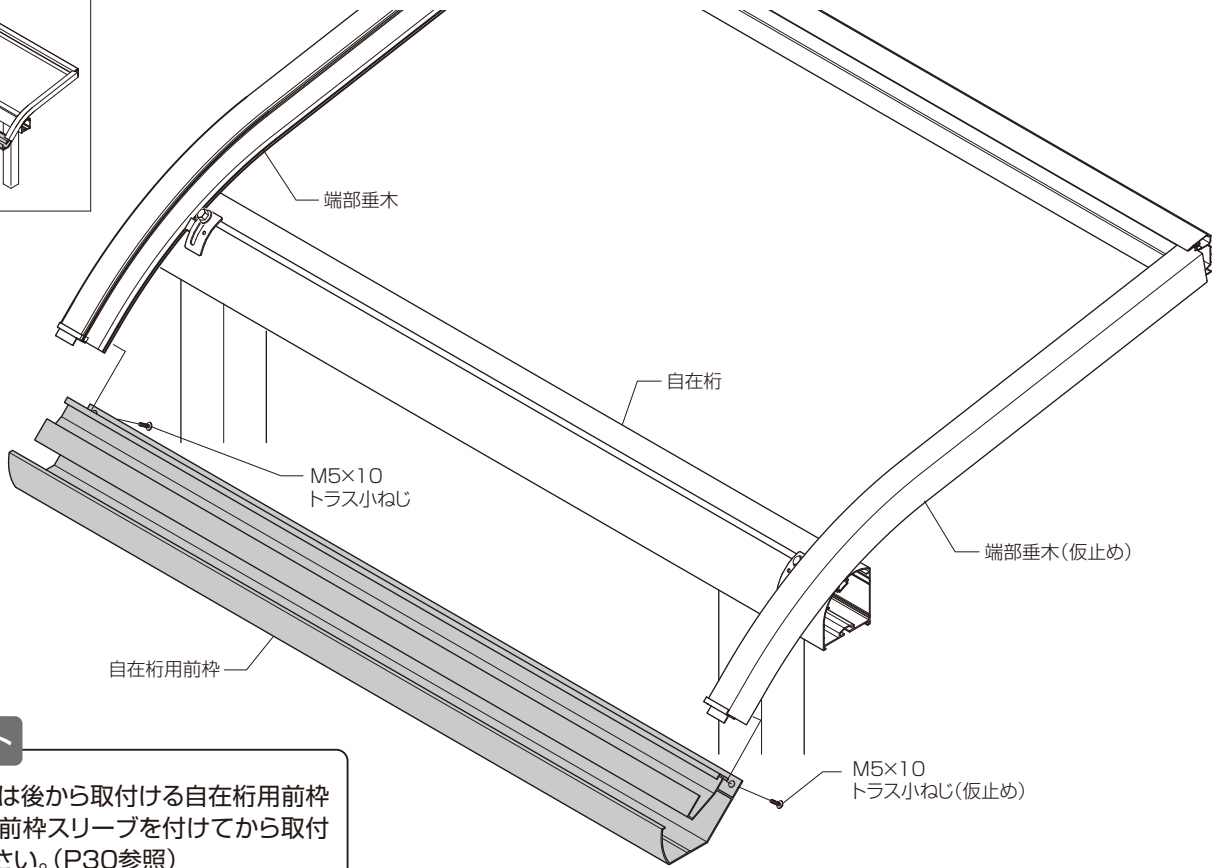
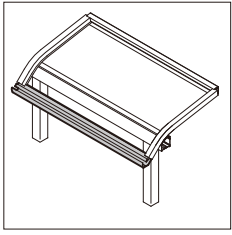


軀
体
側

●自在桁金具と自在桁のすき間がなくなるまでボルトを締め込んでください。



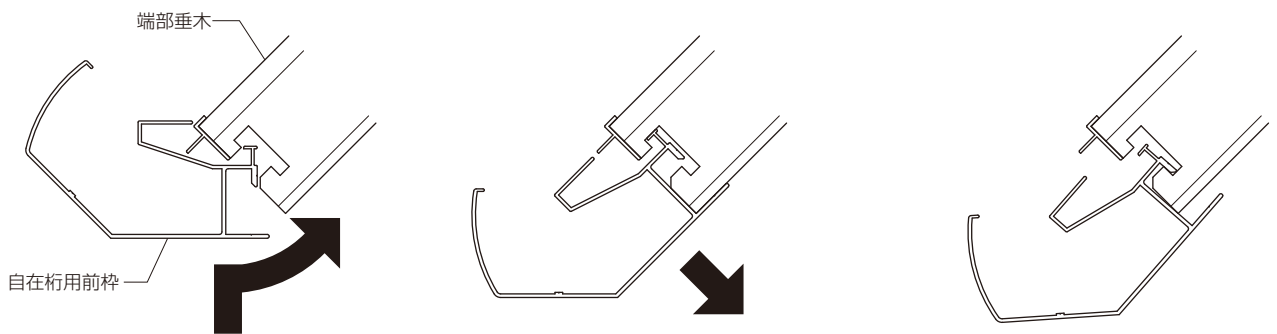
6 自在桁用前枠の取付け



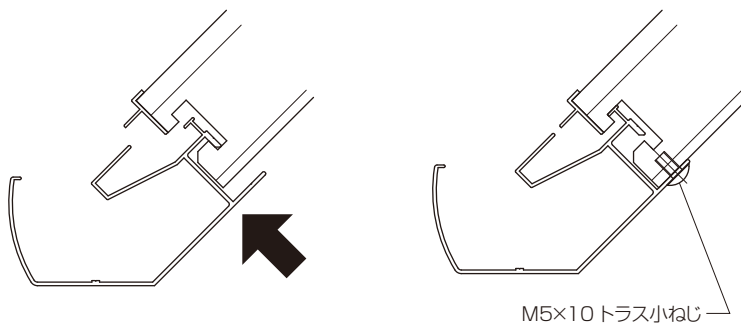
ポイント

- 連棟時には後から取付ける自在桁用前枠に自在桁前枠スリーブを付けてから取付けてください。(P30参照)

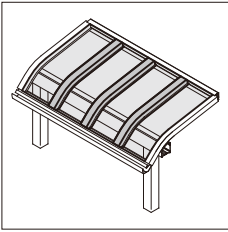
■自在桁用前枠の仮置き方法



■自在桁用前枠の固定方法



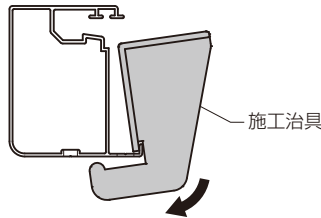
7 垂木・屋根パネルの取付け



※屋根パネルは表裏を確認して取付けてください。
 ※取付け作業後、養生シートをはがしてください。

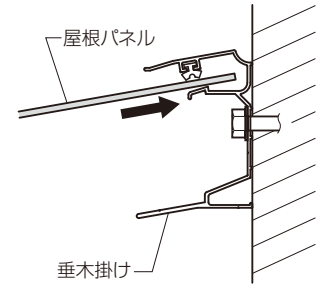
ポイント

●垂木の中央と垂木掛け側に、治具を取付けてください。

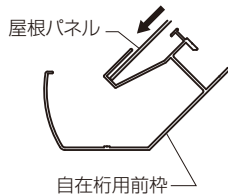


※治具はパネル取付け後に取外してください。
 ※5尺以上の組立部品セットに同梱されています。

② 垂木掛けに屋根パネルを差込みます。



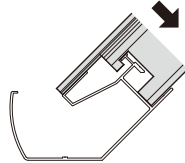
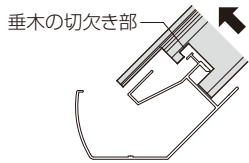
① 前枠に屋根パネルを差込みます。



⑤ ⑥

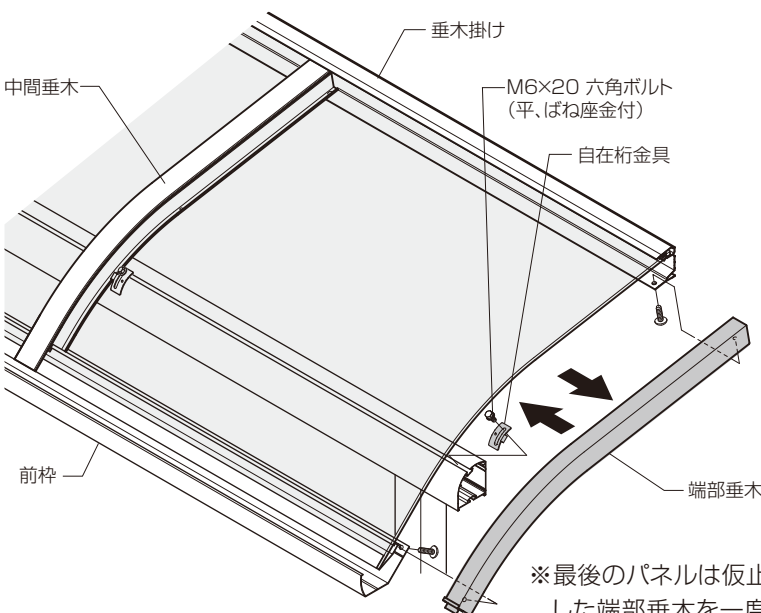
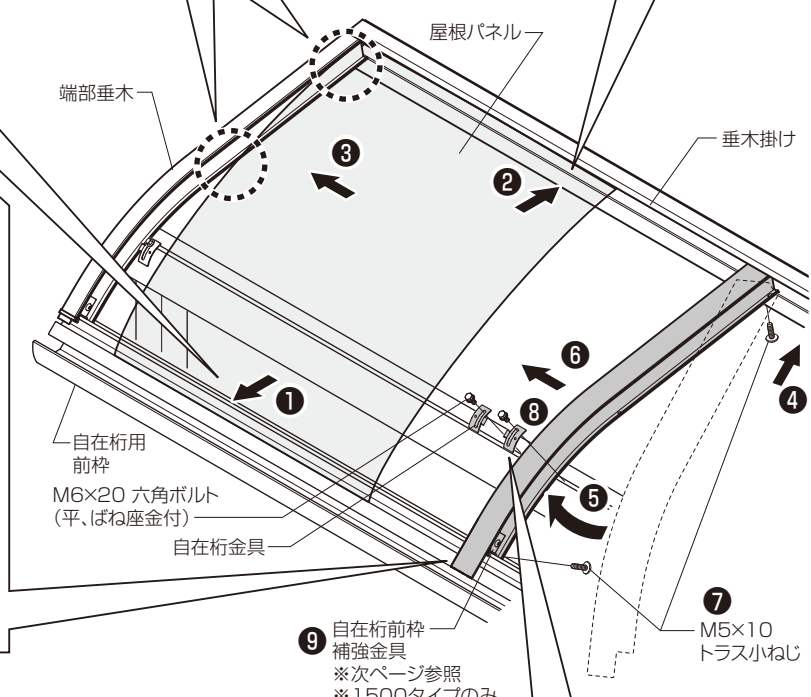
垂木を上を持ち上げ
スライド

取付け位置で下に
おろす



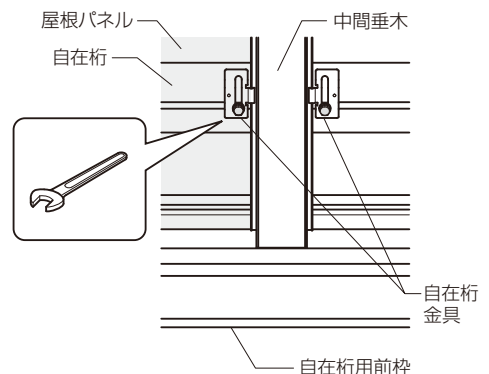
お願い

- 垂木を横に動かす場合、必ず垂木の前枠側を持ち上げてから動かすようにしてください。
- 取付けの際には垂木の切欠きを前枠にしっかり掛けて取付けてください。



※最後のパネルは仮止めた端部垂木を一度外して取付けてください。

⑧ 屋根パネル下の自在桁金具はパネル取付け前に手で仮止めし、垂木取付け後にレンチなどを使用して本締めしてください。



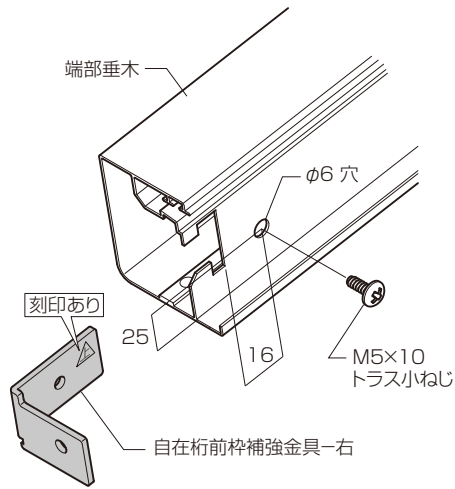
※自在桁と垂木にガタツキがないことを確認してください。

9 自在桁前柵補強金具の取付け

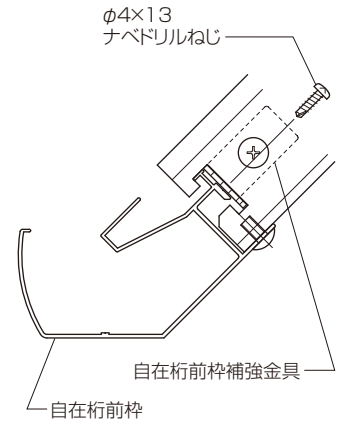
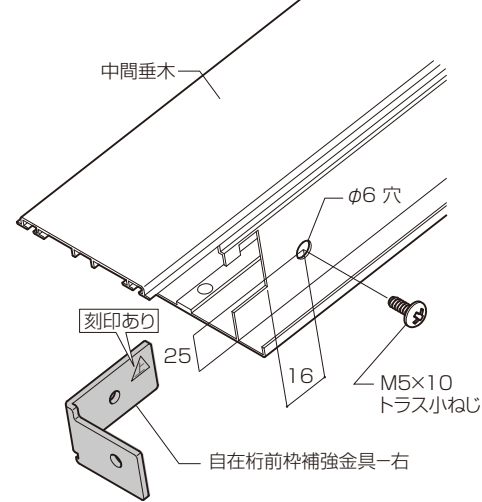
※1500タイプの場合、垂木に穴をあけて、自在桁前柵補強金具を取付けてください。

※自在桁前柵補強金具には左右があります。

●端部垂木の場合



●中間垂木の場合



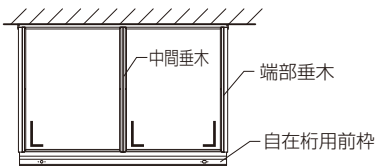
■自在桁前柵補強金具の取付け位置

※内観右側からパネルを取付ける場合を示します。内観左側から取付ける場合は左右対称になります。

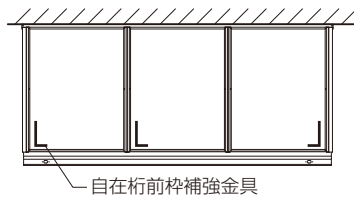
※連棟タイプは単体と単体を合わせた形になります。

【標準ピッチの場合】

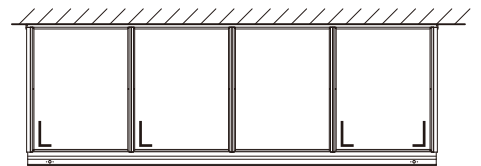
●1.0間 (2000)



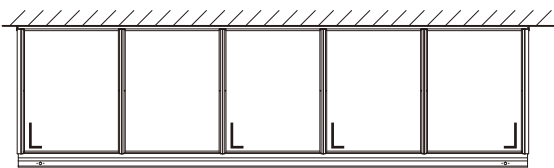
●1.5間 (3000)



●2.0間 (4000)

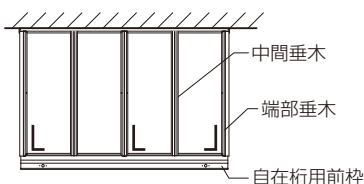


●2.5間通し (5000)

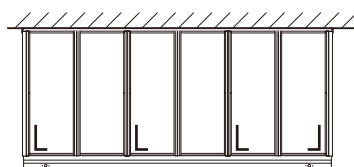


【ハーフピッチの場合】

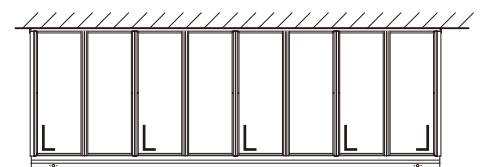
●1.0間 (2000)



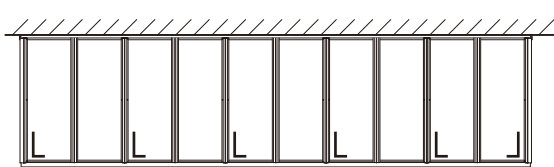
●1.5間 (3000)



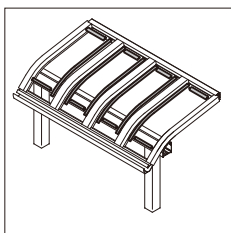
●2.0間 (4000)



●2.5間通し (5000)

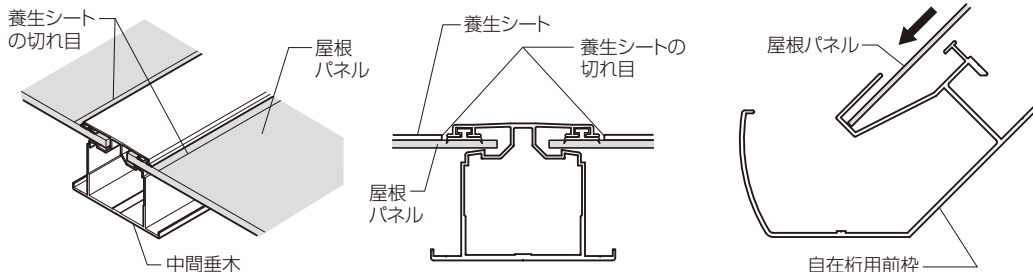


8 後付けビードの取付け



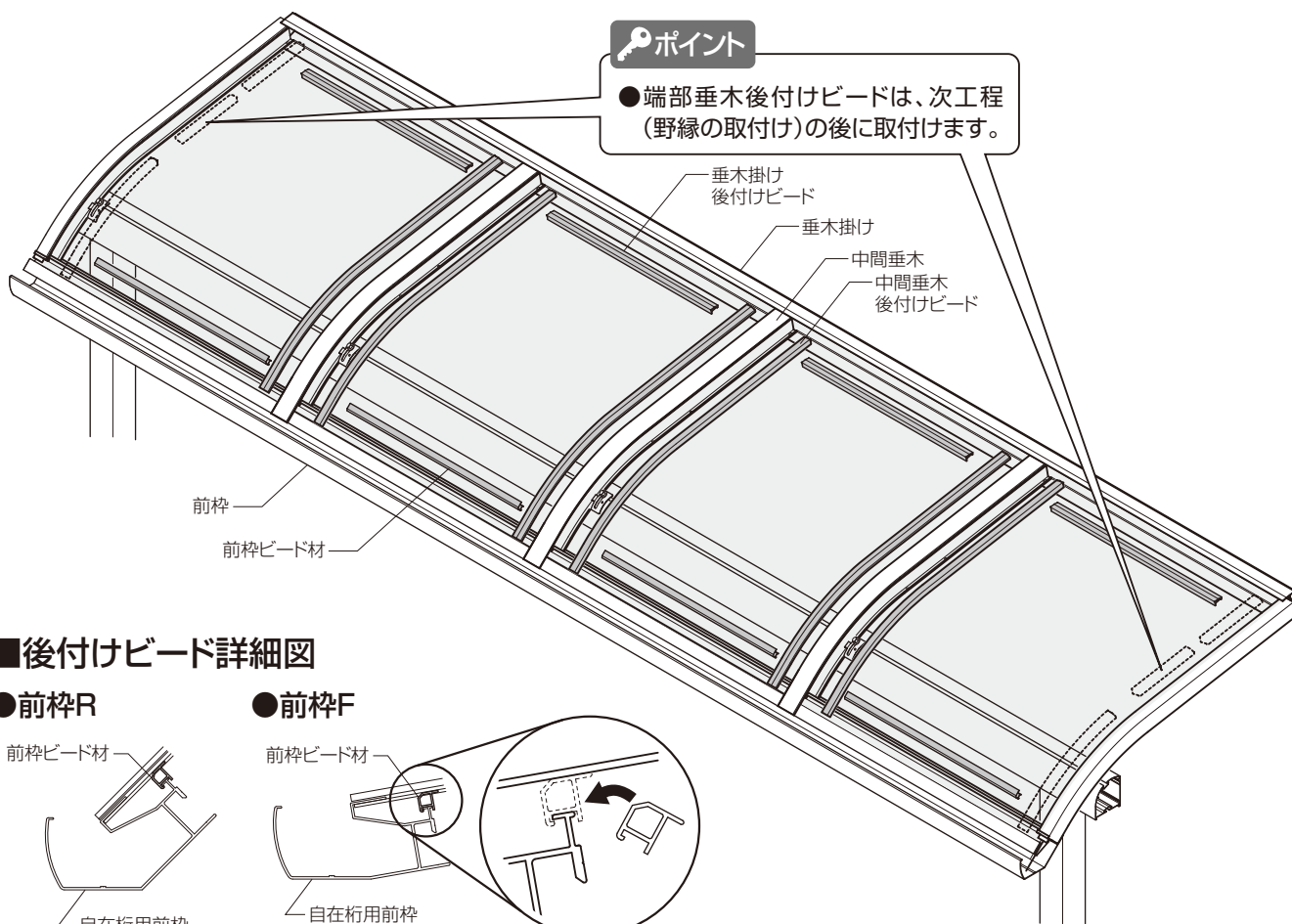
ポイント

- 屋根パネルは左右のみ込み(かかり代)を均等にして取付けてください。
- 屋根パネルを必ず前枠に当たるまで引き寄せてください。



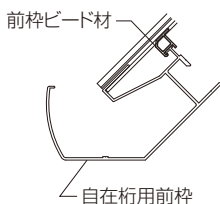
ポイント

- 端部垂木後付けビードは、次工程(野縁の取付け)の後に取付けます。

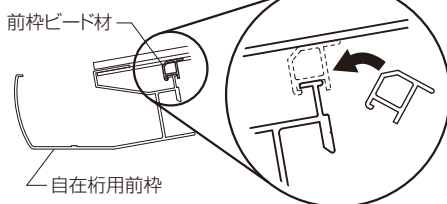


後付けビード詳細図

●前枠R



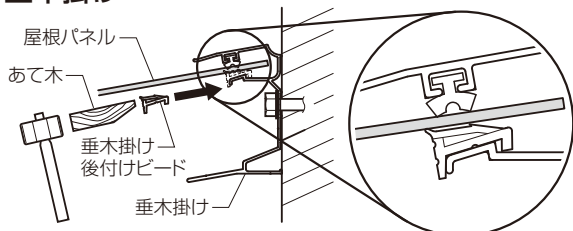
●前枠F



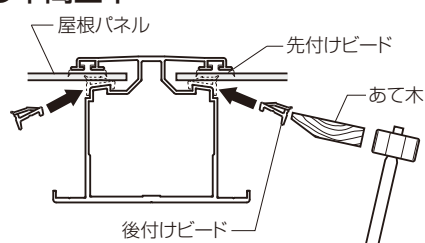
ポイント

- 前枠ビード材を押し込みすぎないように注意してください。
- 前枠ビード材は両端部から押し込んでください。

●垂木掛け

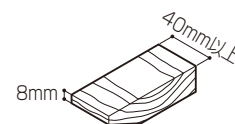


●中間垂木

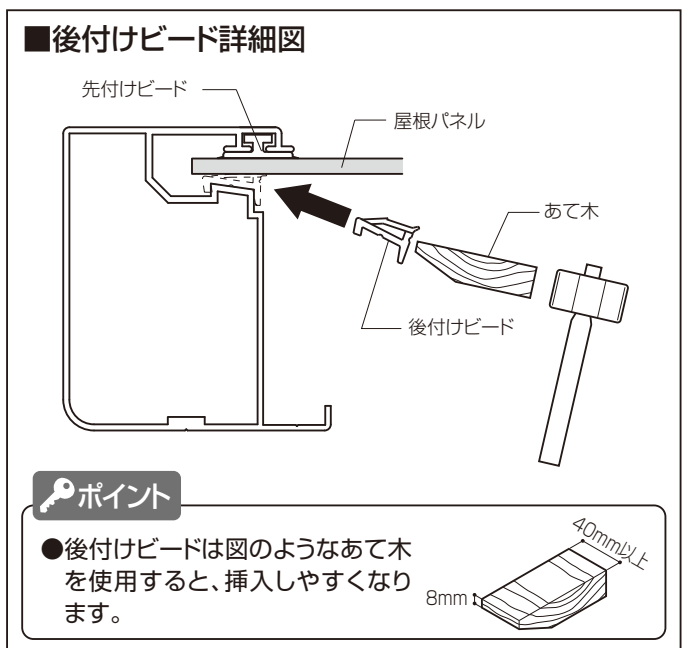
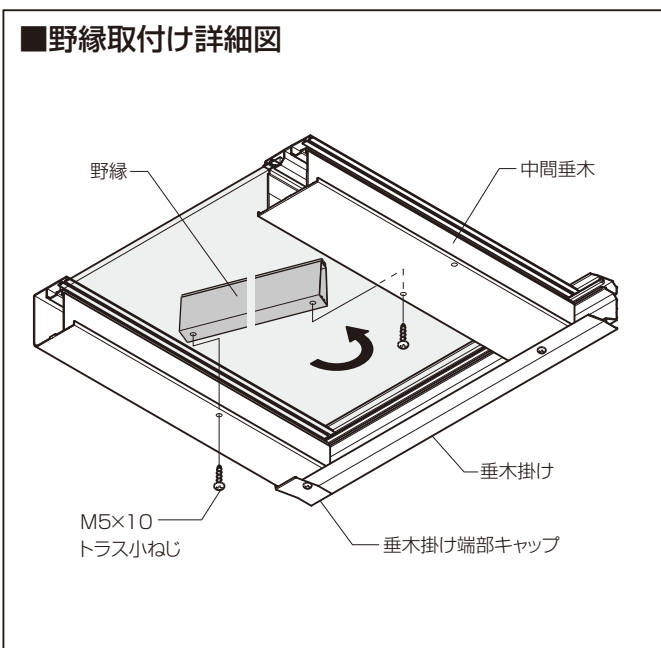
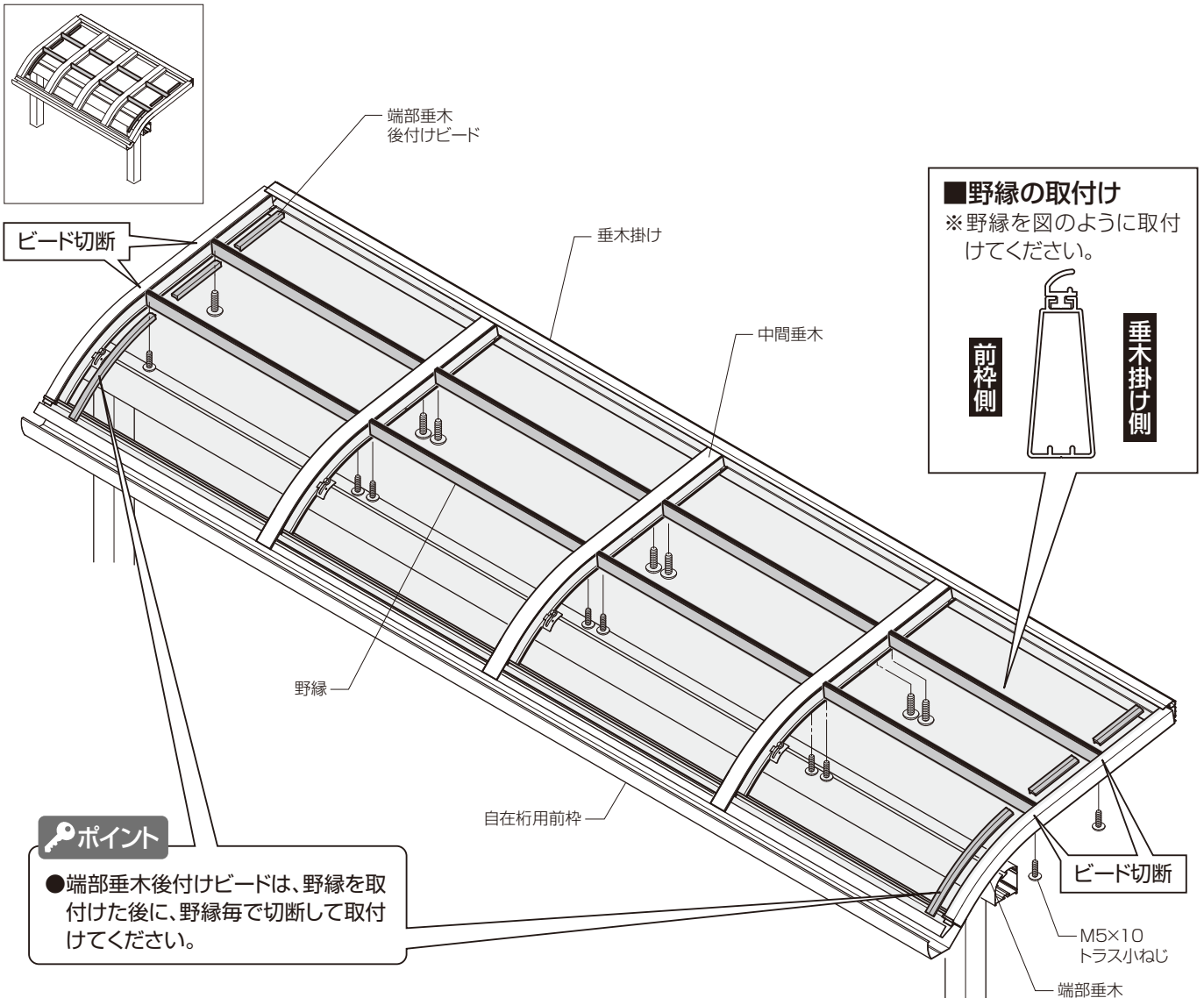


ポイント

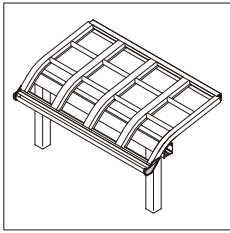
- 後付けビードは図のようなあて木を使用すると、挿入しやすくなります。



9 野縁・後付けビードの取付け



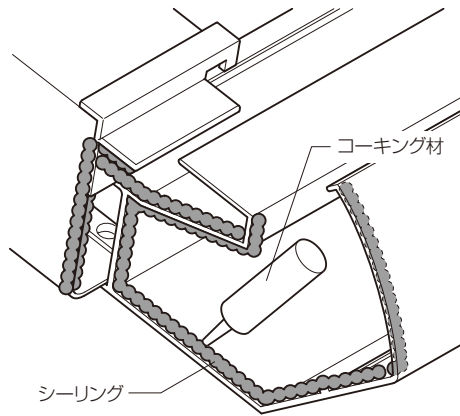
10 自在桁前枠キャップの取付け



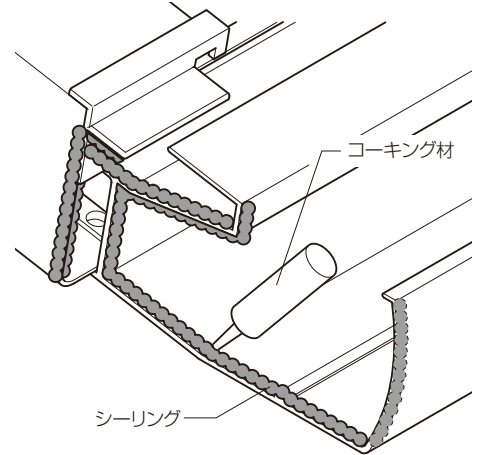
- 自在桁用前枠にシーリングをした後、キャップを取付けます。キャップ取付け後、さらに樋内部にシーリングしてください。

【自在桁用前枠へのシーリング】

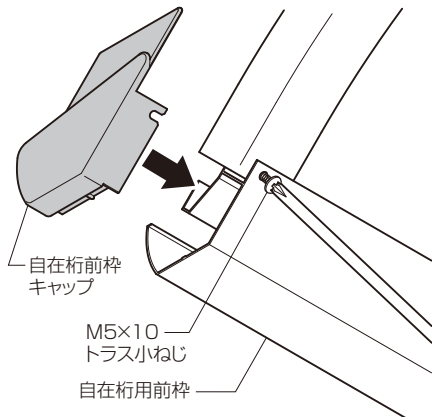
■R型屋根



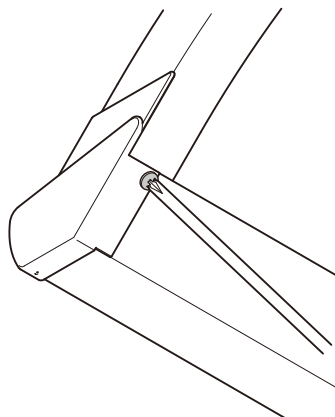
■F型屋根



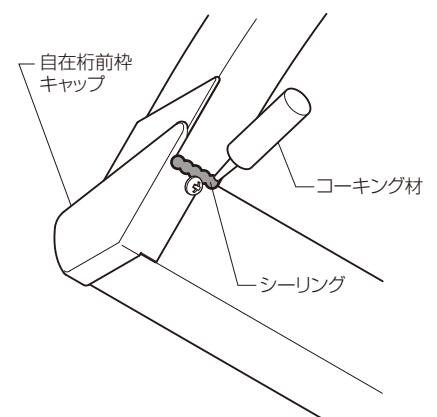
- ① 端部垂木と自在桁用前枠の取付けねじを一度ゆるめてください。



- ② 自在桁前枠キャップ取付け後、ねじを締め直してください。

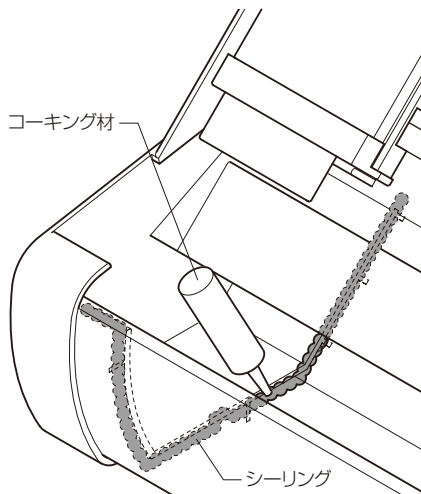


【裏側からのシーリング】

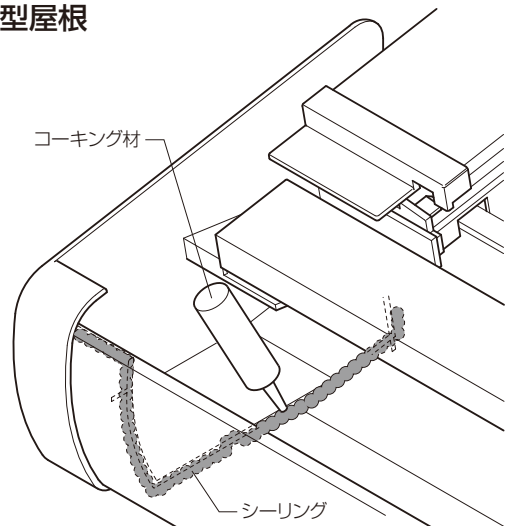


【樋内部へのシーリング】

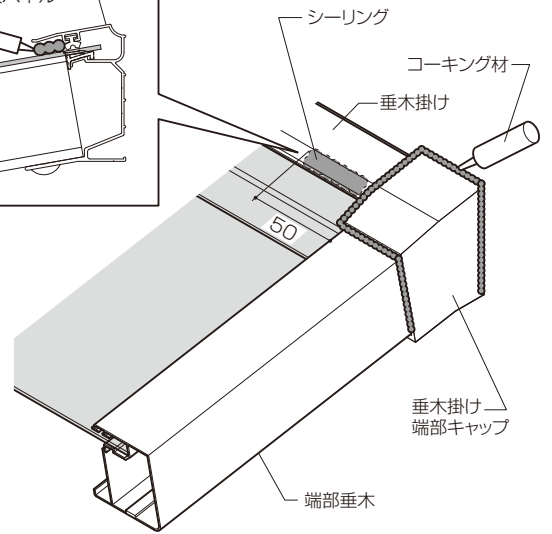
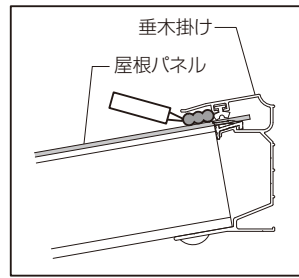
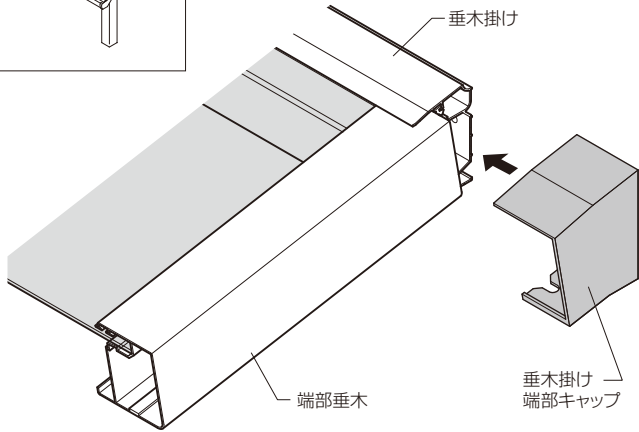
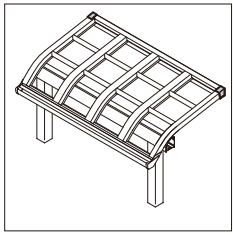
■R型屋根



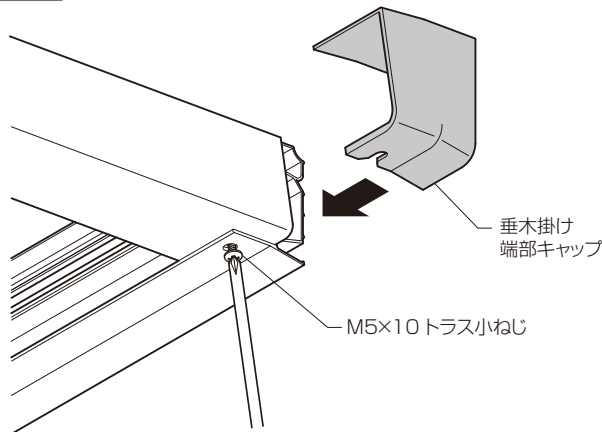
■F型屋根



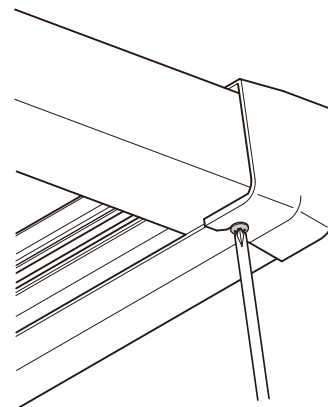
11 垂木掛け端部キャップの取付け



ポイント

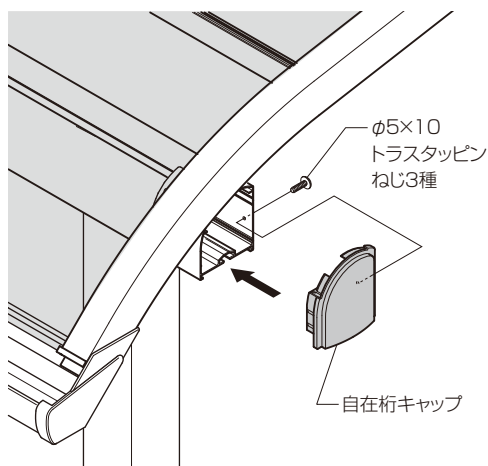
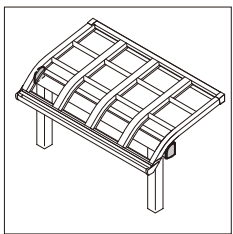


●端部垂木と垂木掛の取付けねじを一度ゆるめてください。



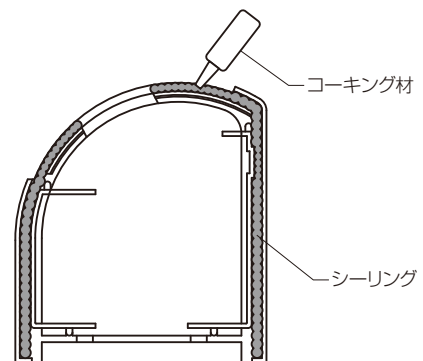
●垂木掛け端部キャップ取付け後、ねじを締め直してください。

12 自在桁キャップの取付け

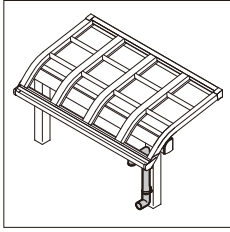


■自在桁キャップシーリング箇所

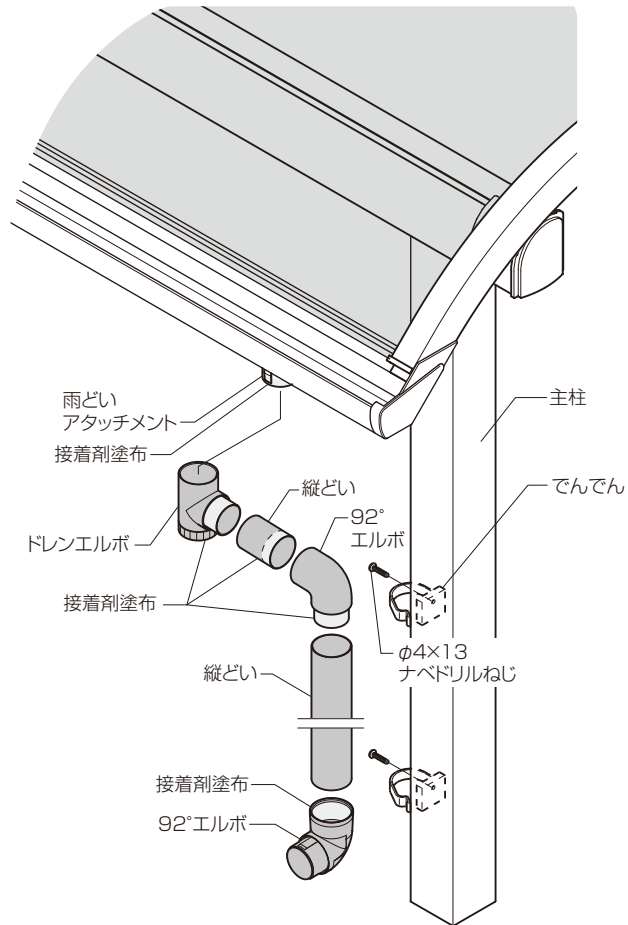
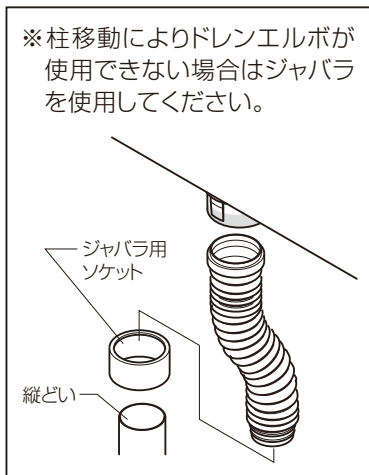
※自在桁にのみ込ませる部分にコーキング材を充てんしてください。下部は必要ありません。



13 雨どいの取付け

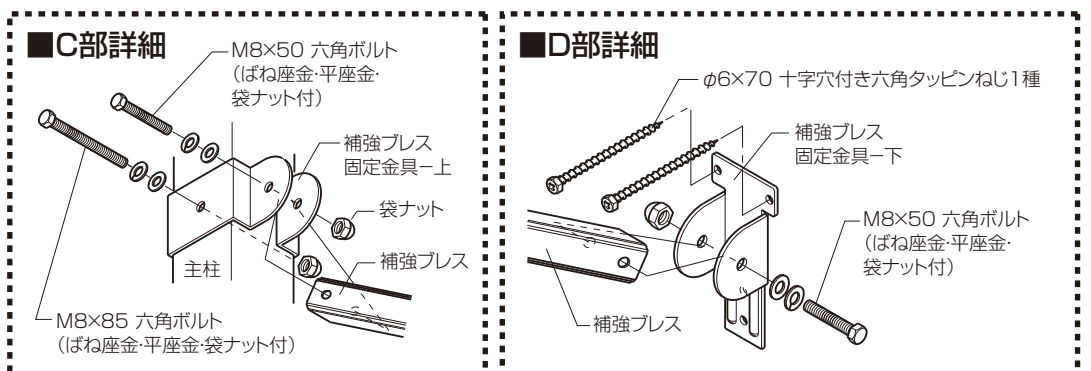
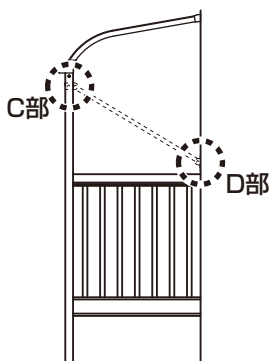


※テラス、柱90角バルコニー接続の場合は、柱の正面に縦どいを取付けます。
 ※前面スクリーン(オプション)を取付ける場合は、柱の側面に縦どいを取付けてください。



■補強ブレスの取付け

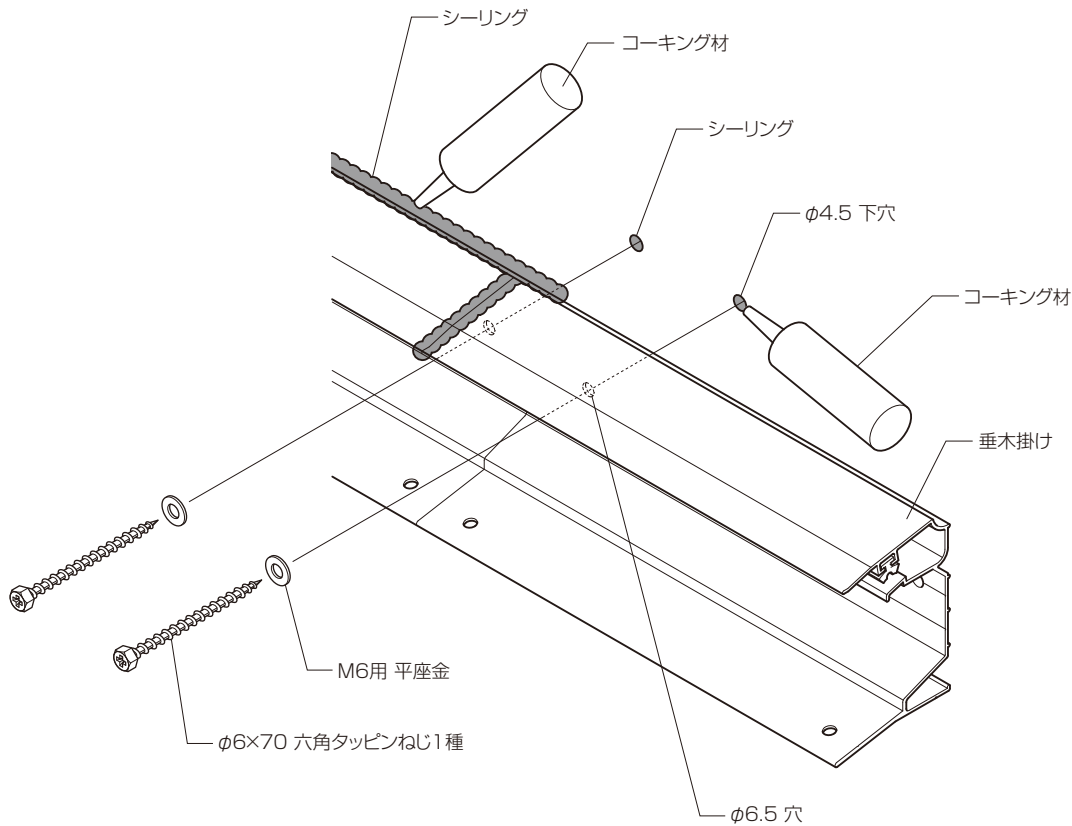
●高い建物のそばや周りに障害物が少ないなどで、直接強い風が吹くような場所では補強ブレスで製品の補強をしてください。



連棟タイプの場合

1 垂木掛けの取付け

● 躯体の柱および間柱の位置に合わせて、上側のV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。



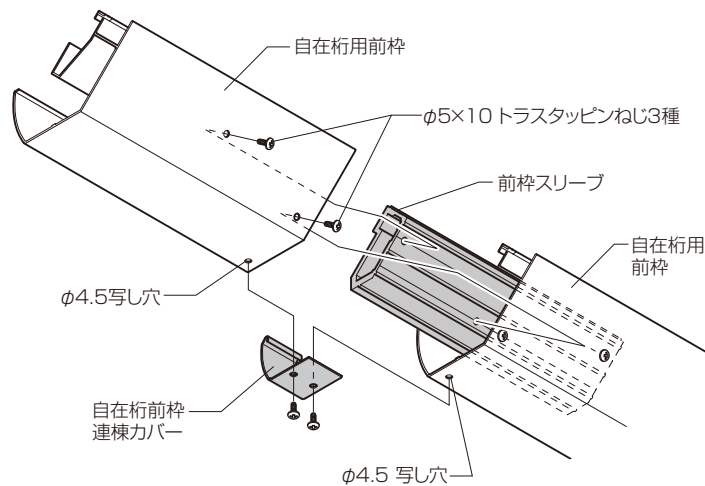
2 自在桁用前枠・自在桁・垂木掛け連結部の組立て

※ 部材の加工については、P15を参照してください。

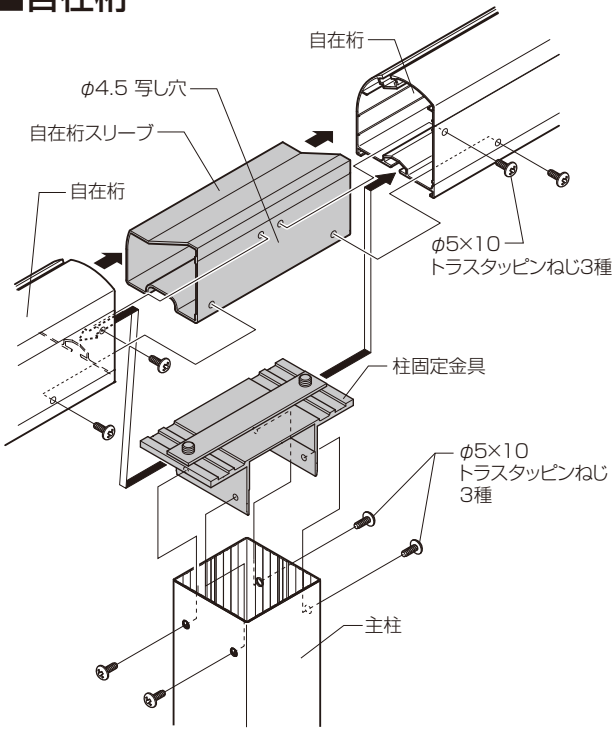
自在桁用前枠

ポイント

● 組立て前にシーリングする箇所があります。あらかじめシーリング箇所(P32)を確認してください。

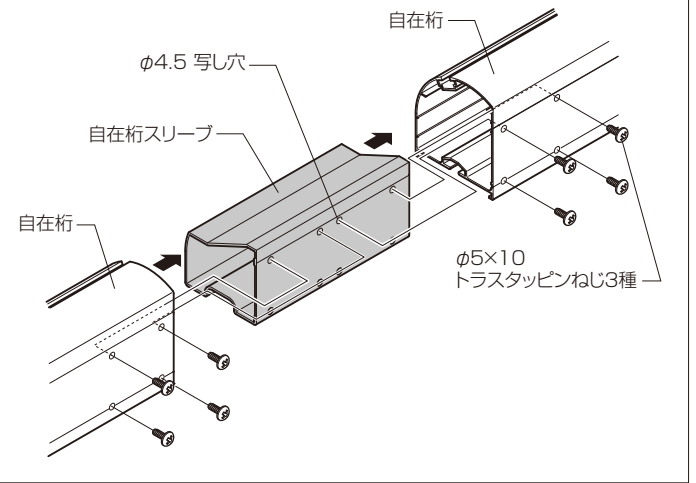


■自在桁



【連棟部に柱が取付かない場合】

●自在桁スリーブをねじ8本で固定してください。

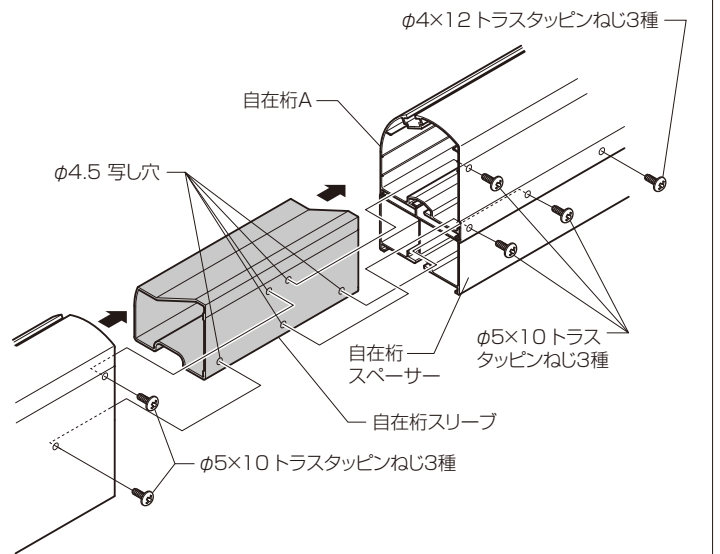
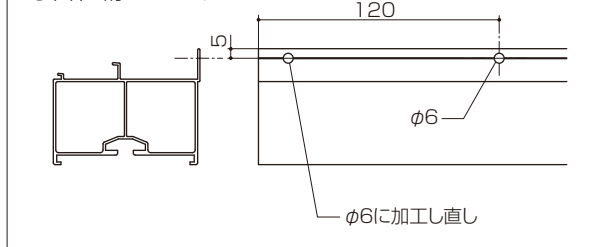


【自在桁AとBの連棟の場合】

●自在桁Aにスペーサーを取付ける場合、スペーサーの連棟部側に下図の加工をしてください。

■スペーサー加工穴位置

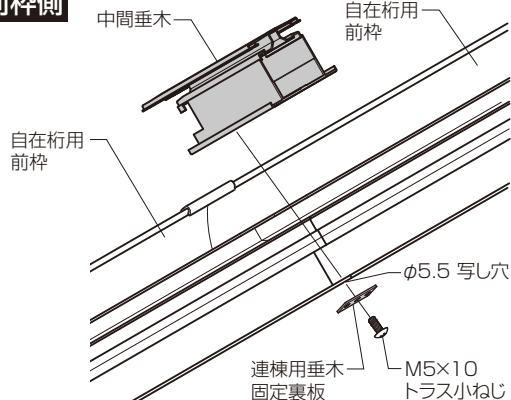
●自在桁スペーサー



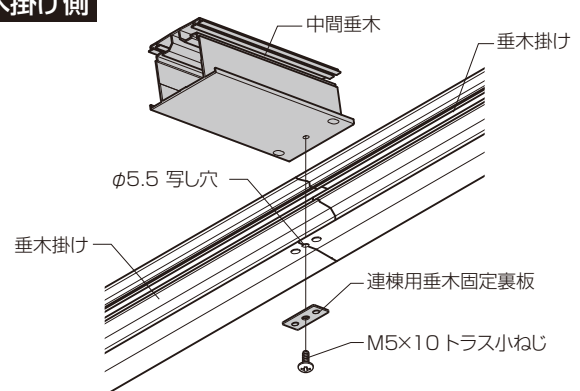
■中間垂木

●裏板に合わせて写し穴をあけて、裏板を共締めしてください。

前枠側

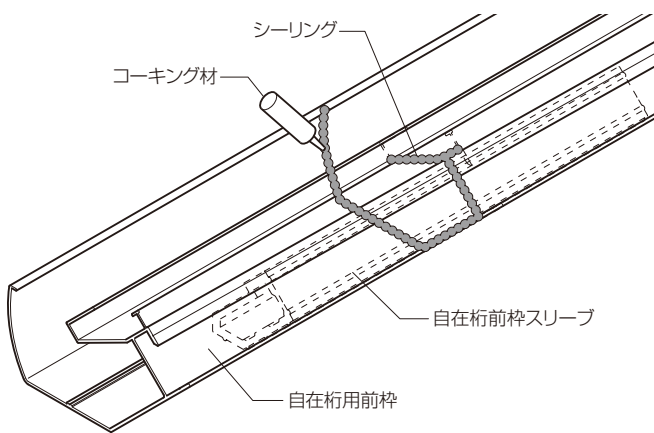
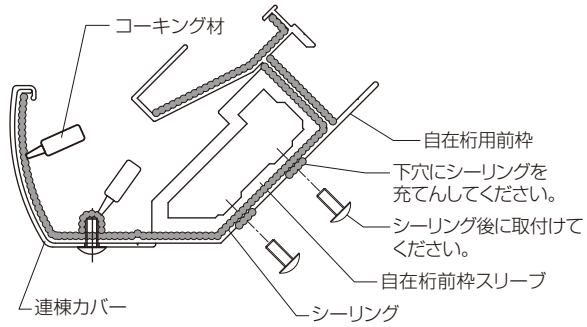


垂木掛け側

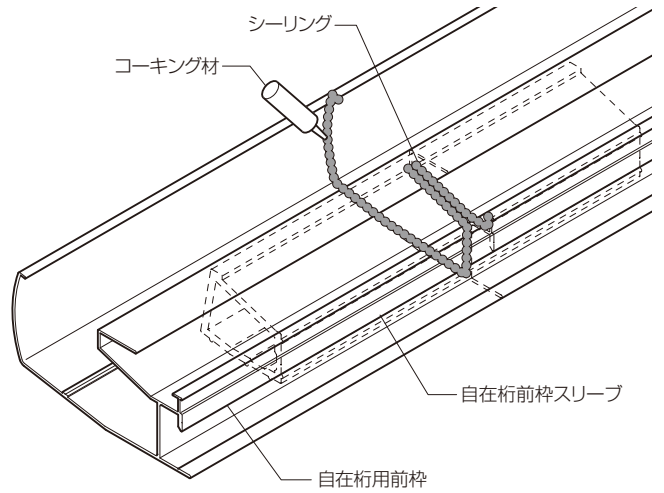
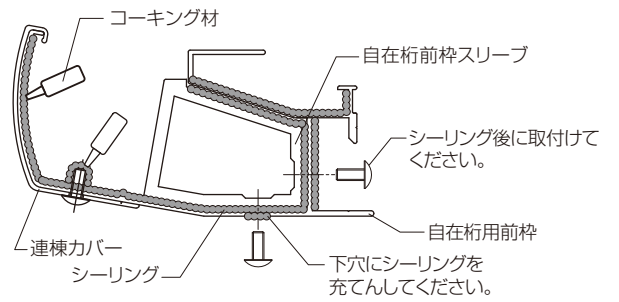


■ジョイント部シーリング箇所

●R型屋根




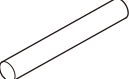
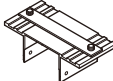
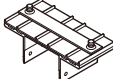
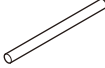



●F型屋根




梱包明細表






●柱セット

名 称	略 図	員 数											
		主 柱						中 間 柱					
		テラス用		造付け屋根用		バルコニー接続用		テラス用		造付け屋根用		バルコニー接続用	
標準	長尺	標準	長尺	標準	長尺	標準	長尺	標準	長尺	標準	長尺		
主柱		2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
縦どい(L=2200)		-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
縦どい(L=2450)		1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-
縦どい(L=3100)		-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
柱固定金具		2	2	2	2	-	-	1	1	1	1	-	-
屋根柱固定金具		-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1
アンカー棒		2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
雨どいでんでんスペーサー		-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2
φ4×25 トラスタッピンねじ3種	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2
取付け説明書(でんでんスペーサー用)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
φ5×10 トラスタッピンねじ3種	-	8	8	8	8	8	8	4	4	4	4	4	4
取扱い説明書	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
取付け説明書(バルコニー接続用)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-



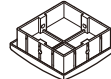

●自在桁スペーサーセット

名 称	略 図	員 数
自在桁スペーサー		1
φ4×12 トラスタッピンねじ3種	-	7








●バルコニー柱連結材セット

名 称	略 図	員 数			
		70柱接続		90柱接続	
		コーナー用	中間用	コーナー用	中間用
柱連結材(コーナー用)		2	-	-	-
柱連結材(中間用)		-	1	-	-
柱連結材(コーナー用)		-	-	2	-
柱連結材(中間用)		-	-	-	1
柱ジョイントカバー		2	1	-	-
φ5×15ナベタッピンねじ2種	-	16	8	-	-
M4×10丸皿小ねじ	-	4	2	-	-
M4×16ナベドリルねじ	-	-	-	17	8







●造付け屋根取付け部品セット

名 称	略 図	員 数		
		中 間 用		コ ー ナ ー 用
		1本用	2本用	1本用
柱壁付け固定部品(中間用アルミ)		2	4	-
柱壁付け固定部品(コーナー用アルミ)		-	-	2
柱キャップ		1	2	1
バックアップ材		-	-	2
M8×90 六角ボルト	-	2	4	2
M8用 平座金	-	4	8	2
M8用 ばね座金	-	2	4	2
M8用 袋ナット	-	2	4	-
φ6×70 六角タッピンねじ1種	-	4	8	-
φ5×12 トラスタッピンねじ3種	-	2	4	2
M6用 平座金	-	4	8	4
M6用 ばね座金	-	4	8	4
φ6×150 六角タッピンねじ1種	-	-	-	4
取付け説明書	-	1	1	1







●自在桁長さセット(600タイプ)3~7尺

名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間 5000	1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間 5000
自在桁用前枠R		1	1	1	1	-	-	-	-
垂木掛けA		1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛けB ※7尺の場合		1	1	1	1	1	1	1	1
自在桁用前枠F		-	-	-	-	1	1	1	1
垂木掛け後付けビード		2	3	4	5	2	3	4	5
前枠ビード材		2	3	4	5	2	3	4	5
縦どい(L=1100)		1	1	1	1	1	1	1	1

●自在桁長さセット(1500タイプ)3~6尺

名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間	1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間
自在桁用前枠R		1	1	1	1	-	-	-	-
垂木掛けB		1	1	1	1	1	1	1	1
自在桁用前枠F		-	-	-	-	1	1	1	1
垂木掛け後付けビード		2	3	4	5	2	3	4	5
前枠ビード材		2	3	4	5	2	3	4	5
縦どい(L=1100)		1	1	1	1	1	1	1	1

●自在桁長さセット(1500タイプ)7尺

名 称	略 図	員 数					
		R型屋根			F型屋根		
		7尺			7尺		
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000
自在桁用前枠R		1	1	1	-	-	-
垂木掛けB		1	1	1	1	1	1
自在桁用前枠F		-	-	-	1	1	1
垂木掛け後付けビード		4	6	8	4	6	8
前枠ビード材		4	6	8	4	6	8
縦どい(L=1100)		1	1	1	1	1	1

●野縁セット

名 称	略 図	員 数										
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	8本入	9本入	10本入	12本入	15本入	18本入
野縁A		2	3	4	5	6	8	9	10	12	15	18






●野縁セット(ハーフセット用)

名 称	略 図	員 数						
		4本入	6本入	8本入	12本入	16本入	20本入	24本入
野縁A		4	6	8	12	16	20	24





●野縁Bセット

名 称	略 図	員 数						
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	8本入	10本入
野縁B		2	3	4	5	6	8	10

●自在桁セット(600タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		3~6尺				7尺			
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間 5000	1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間 5000
自在桁A		1	1	1	-	-	-	-	
自在桁B		-	-	-	1	1	1	1	
自在桁C		-	-	-	-	-	-	1	
自在桁D		-	-	-	-	-	-	-	
自在桁金具		4	6	8	10	4	6	8	10
M6×20 六角ボルト(平、ばね座金付)	-	4	6	8	10	4	6	8	10

●自在桁セット(1500タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		3~6尺				7尺			
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間	1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	
自在桁C		1	1	1	-	-	-	-	
自在桁D		-	-	-	1	1	1	1	
自在桁金具		4	6	8	10	8	12	16	
自在桁前枠補強金具		LR各2	LR各2	LR各3	LR各3	LR各3	LR各4	LR各5	
M6×20 六角ボルト(平、ばね座金付)	-	4	6	8	10	8	12	16	
φ4×13 ナベドリルねじ	-	4	4	6	6	6	8	10	
M5×10 トラス小ねじ	-	4	4	6	6	6	8	10	

●自在桁連結材セット

名 称	略 図	員 数	
		A・B 連結用	C・D 連結用
自在桁スリーブA・B用		1	-
自在桁スリーブC・D用		-	1
φ5×10トラスタッピンねじ3種	-	8	8

●自在桁端部部品セット

名 称	略 図	員 数			
		A用	B用	C用	D用
自在桁Aキャップ		LR各1	-	-	-
自在桁Bキャップ		-	LR各1	-	-
自在桁Cキャップ		-	-	LR各1	-
自在桁Dキャップ		-	-	-	LR各1
φ5×10トラスタッピンねじ3種	-	2	2	2	2

●中間垂木セット

名 称	略 図	員 数														
		3尺			4尺			5尺			6尺			7尺		
		1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入
中間垂木F(下止め)		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
中間垂木R(下止め)		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
後付けビード		2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6

●端部垂木セット

名 称	略 図	員 数									
		R型屋根					F型屋根				
		3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺
端部垂木R-右		1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
端部垂木R-左		1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
端部垂木F-右		-	-	-	-	-	1	1	1	1	1
端部垂木F-左		-	-	-	-	-	1	1	1	1	1
後付けビード		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

●補強垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		7尺		
		2本入	3本入	4本入
補強垂木R		2	3	4
補強垂木F		2	3	4

●前枠連結材セット

名 称	略 図	員 数	
		R型屋根	F型屋根
自在桁前枠Rスリーブ		1	-
自在桁前枠Fスリーブ		-	1
自在桁前枠連棟カバー		1	1
連棟用垂木固定裏板		2	2
φ5×10トラスタッピンねじ3種	-	10	10

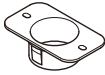





●組立部品セット(R型屋根用)(3~7尺)

名 称	略 図	員 数																				
		600タイプ									1500タイプ											
		1.0間 2000			1.5間 3000			2.0間 4000			2.5間 5000			1.0間 2000			1.5間 3000			2.0間 4000		
		3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺			
垂木掛け端部キャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
垂木掛け端部キャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
自在桁前枳Fキャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
自在桁前枳Fキャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
下止め端部垂木キャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
下止め端部垂木キャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
雨どいアタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
雨どいパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			
自在桁前枳端部パッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
下止め中間垂木パッキン		1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	1	1	1	2	2	2	3	3	3
接着剤	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
施工治具	-	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2
φ6×70 六角タッピンねじ1種	-	5	5	5	7	7	7	9	9	9	11	11	11	5	5	5	7	7	7	9	9	9
M6用 平座金	-	5	5	5	7	7	7	9	9	9	11	11	11	5	5	5	7	7	7	9	9	9
φ4×13 ナベドリねじ	-	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
M5×10 トラス小ねじ	-	11	15	19	15	22	28	19	28	37	24	35	46	11	15	28	15	22	41	19	28	55
取付け説明書	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

●組立部品セット(F型屋根用)(3~7尺)

名 称	略 図	員 数																				
		600タイプ												1500タイプ								
		1.0間 2000			1.5間 3000			2.0間 4000			2.5間 5000			1.0間 2000			1.5間 3000			2.0間 4000		
		3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺	3-4尺	5-6尺	7尺
垂木掛け端部キャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
垂木掛け端部キャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
自在桁前枠Fキャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
自在桁前枠Fキャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
下止め端部垂木キャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
下止め端部垂木キャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
雨どいアタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
雨どいパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
自在桁前枠端部パッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
下止め中間垂木パッキン		1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	1	1	1	2	2	2	3	3	
接着剤	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
施工治具	-	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	2	-	2	
φ6×70 六角タッピンねじ1種	-	5	5	5	7	7	7	9	9	9	11	11	11	5	5	5	7	7	7	9	9	
M6用 平座金	-	5	5	5	7	7	7	9	9	9	11	11	11	5	5	5	7	7	7	9	9	
φ4×13 ナベドリねじ	-	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
M5×10 トラス小ねじ	-	11	15	19	15	22	28	19	28	37	24	35	46	11	15	28	15	22	41	19	28	
取付け説明書	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

●自在桁組立部品セット(連棟用)

名 称	略 図	員 数							
		600・1500 タイプ		600・1500 タイプ		600・1500 タイプ		600・1500 タイプ	
		1.0間 (2000)		1.5間 (3000)		2.0間 (4000)		2.5間通し (5000)	
		2・3・4尺	5・6尺	2・3・4尺	5・6尺	2・3・4尺	5・6尺	2・3・4尺	5・6尺
雨どいアタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふざぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
雨どいパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3
φ6×70 六角タッピンねじ1種(平座金付)	—	3	3	4	4	5	5	6	6
φ4×13 ナベドリルねじ	—	7	7	7	7	7	7	7	7
M5×10 トラス小ねじ	—	29	41	41	59	53	76	65	94
接着剤	—	1	1	1	1	1	1	1	1

●オールアンカーセット

名 称	略 図	員数 10本入
M6×60 オールアンカー	—	10
M6用 平座金	—	10
M6用 ばね座金	—	10
M6用 袋ナット	—	10

●M6×70 六角ドリルねじセット

名 称	略 図	員数 10本入
M6×70 六角ドリルねじ	—	10
M6用 平座金	—	10

●潰れ防止部品セット

名 称	略 図	員数 10個入
潰れ防止部品	—	10

●スパンサイディング用バックアップ材セット

名 称	略 図	員数 120個入
スパンサイディング用バックアップ材	—	120

●外壁対応部品セット

名 称	略 図	員数
φ6用 平座金	—	10
M6×150 六角コーチボルト	—	10

●ジャバラセット

名 称	略 図	員数
		1個入
ジャバラ(L=600)		1
ジャバラ用ソケット		1
取付け説明書	-	1

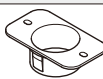
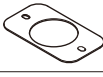
●縦どいセット

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		標準	長尺			標準	長尺
縦どい(L=3100)		1	1	92°エルボ		2	2
縦どい(L=1100)		-	1	ドレンエルボ		1	1
雨どいアタッチメント		1	1	でんでん		3	4
穴ふさぎキャップ		1	1	接着剤	-	1	1
				φ4×13 ナベドリルねじ	-	7	8
雨どいパッキン		2	2				


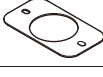
●屋根パネルセット

名 称	略 図	員 数														
		3尺			4尺			5尺			6尺			7尺		
		2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入
パネル3尺	-	2	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パネル4尺	-	-	-	-	2	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パネル5尺	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	-	-	-	-	-	-
パネル6尺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	-	-	-
パネル7尺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4


●雨どいアタッチメントセット

名 称	略 図	員数
雨どいアタッチメント		1
雨どいパッキン		1
φ4×13 ナベドリルねじ	-	2


●穴ふさぎセット

名 称	略 図	員数
穴ふさぎキャップ		1
雨どいパッキン		1
φ4×13 ナベドリルねじ	-	2


●92°エルボセット

名 称	略 図	員数
92°エルボ		1
接着剤	-	1


●でんでんセット

名 称	略 図	員数
でんでん		3
φ4×14 トラストッピンねじ3種	-	3


●ドレンエルボセット

名 称	略 図	員数
ドレンエルボ		1


●でんでんスペーサーセット

名 称	略 図	員数
でんでん用スペーサー		8
φ4×90 ナベタッピンねじ1種	-	4
取付け説明書	-	1




●柱用アンカーセット

名 称	略 図	員数
柱用アンカー		2

●70柱用スリーブセット

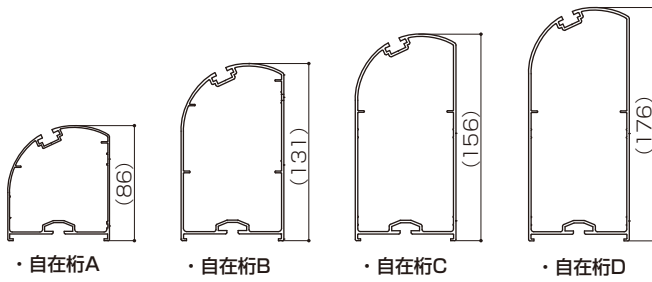
名 称	略 図	員数
70柱用スリーブ		2
φ5×12 トラスタップピンねじ3種	—	16
φ5×30 ナベタップピンねじ3種	—	4
φ5×16 ナベドリルねじ	—	2

●柱台座セット

名 称	略 図	員 数		
		片流れ		平型
		135-150-175	200-225-250 275-300	
柱台座片流れ用(135~175)		2	—	—
柱台座片流れ用(200~300)		—	2	—
柱台座平型用		—	—	2

納まり図

●自在桁使い分け表

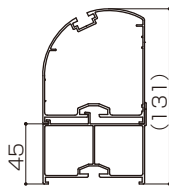


●600タイプ

出幅	間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間 通し
3尺		A			B
4尺		A			B
5尺		A			B
6尺		A			B
7尺		B			C

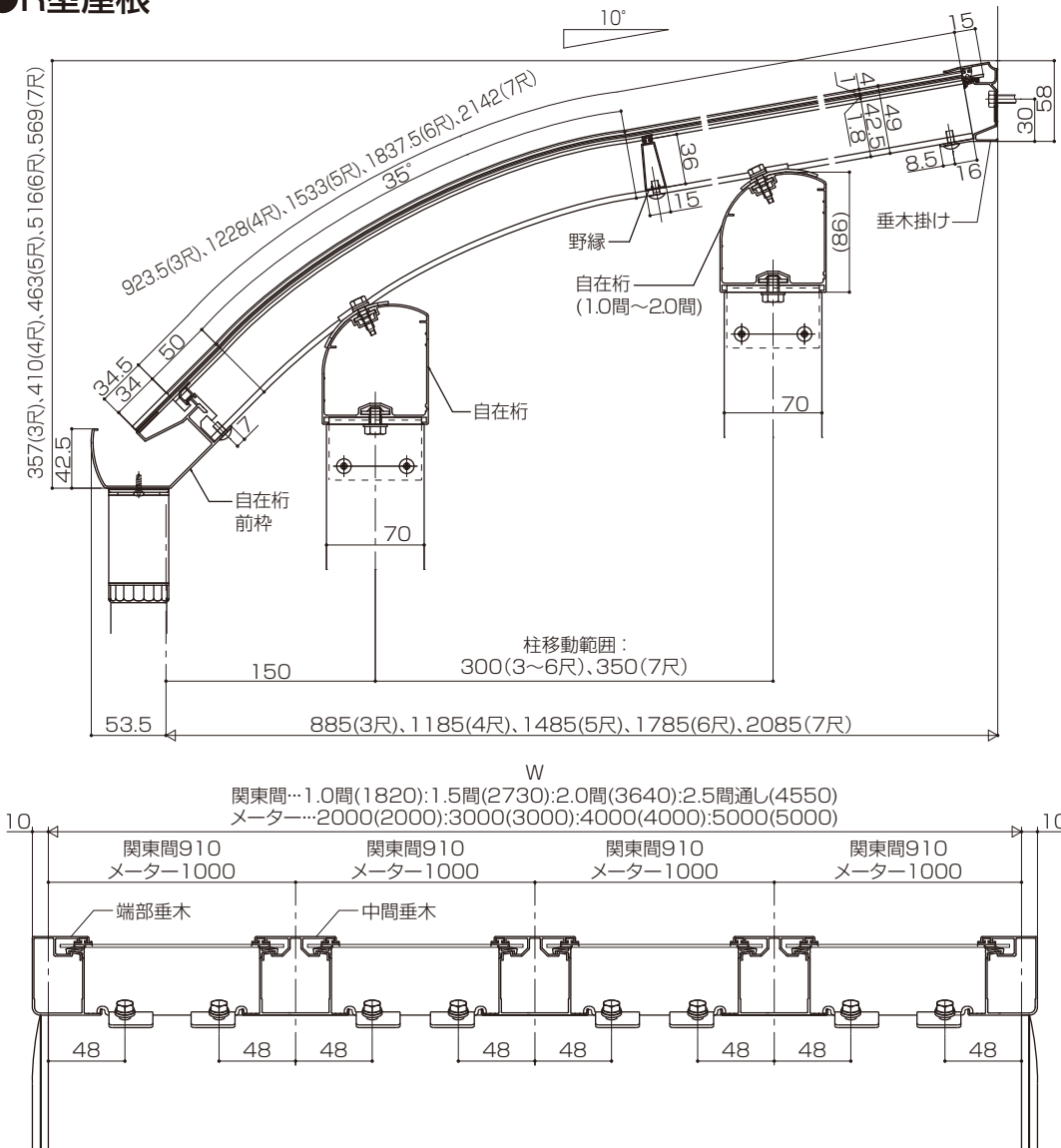
●1500タイプ

出幅	間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間 通し
3尺		C			D
4尺		C			D
5尺		C			D
6尺		C			D
7尺		D			



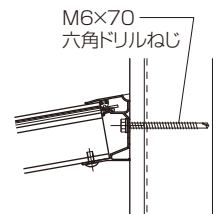
・自在桁A+自在桁スペーサー

●R型屋根

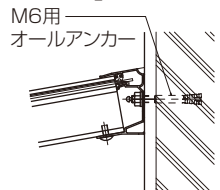


【軽量鉄骨構造】

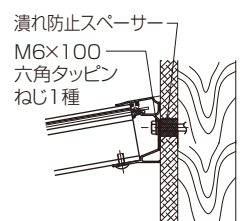
※板厚2.3mm以上の躯体に取付けてください。



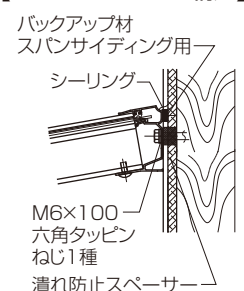
【RC構造】



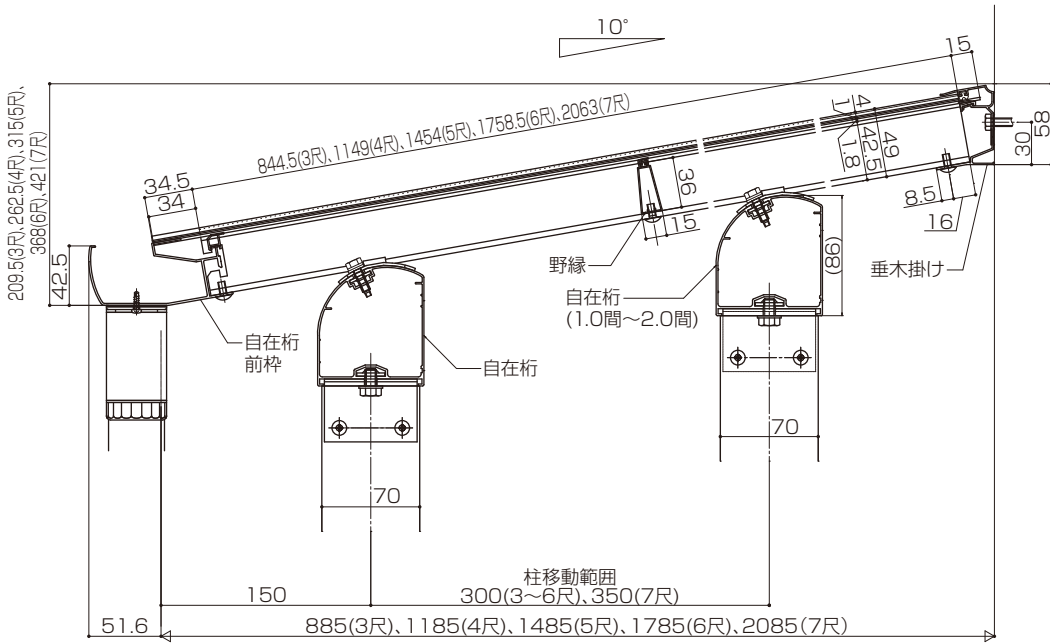
【サイディング構造】



【スパンサイディング構造】



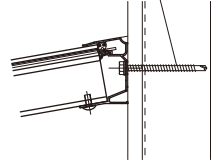
●F型屋根



【軽量鉄骨構造】

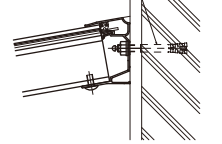
※板厚2.3mm以上の躯体に取付けてください。

M6×70
六角ドリルねじ



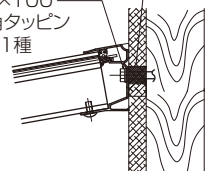
【RC構造】

M6用
オールアンカー



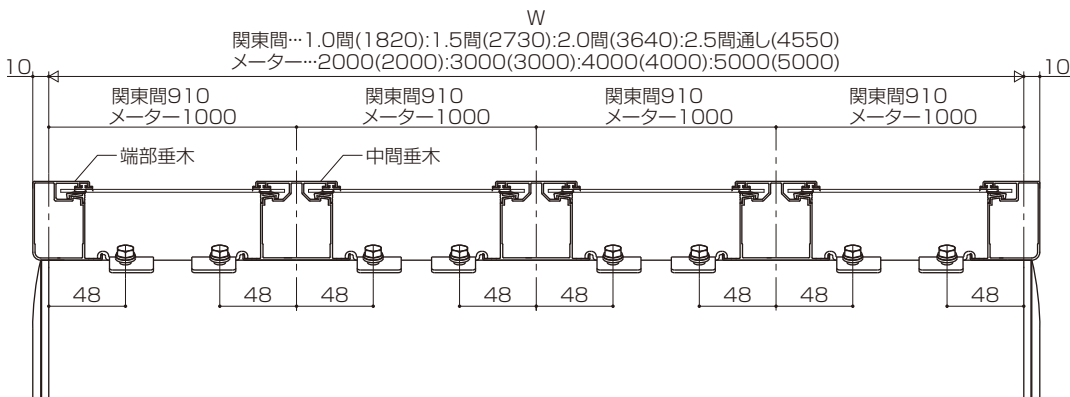
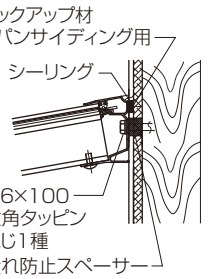
【サイディング構造】

潰れ防止スペーサー
M6×100
六角タッピン
ねじ1種



【スパンサイディング構造】

バックアップ材
スパンサイディング用
シーリング
M6×100
六角タッピン
ねじ1種
潰れ防止スペーサー



【1500タイプ 7尺の場合】

